

事務事業評価調書

事務事業名	市民劇場等運営委託事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正内容	実施内容の見直し											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	文化芸術振興基本法, 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律, 吹田市文化振興基本条例, 吹田市文化振興基本計													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、また、一部市民参加の事業を実施することで、親しみながら芸術文化の振興と創造を図る。 舞台芸術の鑑賞、また自ら参加することで、市民文化の振興と創造を高め、文化の息づくまちづくりの実現を促進する。												
(7) 事業概要	クラシックコンサートや親子向けのコンサート、バレエ、芝居など、文化会館の機能を生かした舞台芸術の鑑賞や参加型市民劇場(ジャンルや参加者対象を考慮し、開催)の機会を安価で提供している。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		20,418	19,638	20,418	19,281	20,418							
	人件費	職員数	人	0.20	0.15	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	1,660	1,193	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		22,078	20,831	22,089	20,952	22,052							
	特定財源(C)		10,470	10,423	10,463	12,197	10,280							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	10,470	10,423	10,463	12,197	10,280							
	市負担(D)		11,608	10,407	11,626	8,755	11,772							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		11,608	10,407	11,626	8,755	11,772								
財源計(C+D)		22,078	20,830	22,089	20,952	22,052								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市文化振興事業団										
			②											
			③											
	主な委託内容		企画、運営、管理											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	事業実施回数	目標値	(単位:回)	4.00	5.00	4.00
			実績値	(単位:回)	4.00	5.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	当該年度事業実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,307.00		4,190.40
				一般財源(単位:千円)		2,701.25	1,751.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	事業総入場率 (総入場者数/設定座席総数)	目標値	(単位:%)	70.00	70.00	70.00
			実績値	(単位:%)	68.25	75.50	/	
		達成度(%)		97.5	107.9			
	目標値の積算方法	通常公演で目標とする値70%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		311.03		277.51
				一般財源(単位:千円)		158.32	115.96	
	②	指標内容	入場者感想「よかった」の割合 (「よかった」回答者数/アンケート回答数)	目標値	(単位:%)	60.00	60.00	60.00
			実績値	(単位:%)	71.80	79.40	/	
		達成度(%)		119.7	132.3			
目標値の積算方法	通常公演で目標とする値60%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		295.65	263.88		
			一般財源(単位:千円)		150.49	110.26		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		音楽、演劇等幅広いジャンルの優れた作品は、市民に生きることの喜びや勇気を与え、また、安らぎをもたらしてくれます。これらの作品を安価で鑑賞できることから、市民ニーズは大変高いものとなっています。七タコンサートでは著名な演奏家がソリストとして共演するなど、舞台芸術をより身近なものとして感じていただけたと考えています。今後も、作品の鑑賞の機会の提供はもちろんのこと、市民の参加も考慮しながら市民の文化に対する要求に応えられるような内容となるよう努め、継続していきます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民劇場運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00172				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00172
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

公演出演者に係る経費は委託先の工夫で一般公演よりも安価に設定されており、事業単価として高額なものではありません。事業の内容については毎年見直しをかけています。子どもの頃から文化芸術に親しめるよう、親子を対象とした事業を実施し、対象者に周知できるように、ちらしの配布先などを工夫し、入場者増につなげています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>作品内容については、市民の声や他市の作品等を参考にしながら、ジャンルの固定化やマンネリ化の防止に心がけ、毎年度見直しを行うとともに、質の高い舞台芸術を安価で提供してきました。あわせて、高収益(入場料収入)が予測できる公演についても検討してきました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	ティーンズクラシックフェスティバル事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成2年度	改正 内容	音楽コンクールについて、ピアノコンクールから10代の市民を対象とした普及育成型のクラシック音楽コンクールに改定											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	10代の市民、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	音楽コンクールをはじめとするフェスティバル行事を通して、芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	芸術文化活動を支える人材育成や技術の向上と芸術文化への親近感の高まり													
(7)	事業概要	市内在住・在学、吹田に縁のある10歳～大学生の若者を対象とした普及育成型クラシック音楽コンクールを中心に、レッスンから入賞者によるコンサートまでを実施している。芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興と創造を図ることを目的に実施している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,700	2,505	2,700	2,588	2,700							
		人件費	職員数	人	0.50	0.45	0.50	0.50							
			総額(B)	千円	4,150	3,577	4,176	4,176							
		総事業費(A+B)		6,850	6,082	6,876	6,764		6,785						
		特定財源(C)		200	244	200	240		200						
		(内訳)	国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
			その他		200	244	200	240							
		市負担(D)		6,650	5,837	6,676	6,524		6,585						
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
一般財源			6,650	5,837	6,676	6,524									
財源計(C+D)		6,850	6,081	6,876	6,764		6,785								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人 吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容											
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル市民参加事業種類数	目標値	(単位:種類)	8.00	8.00	8.00	
			実績値	(単位:種類)	10.00	11.00		
			達成度(%)		125.0	137.5		
	目標値の積算方法	コンクール+レッスン+コンサート	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		648.00	614.91	
				一般財源(単位:千円)		623.60	593.09	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル応募による参加者数	目標値	(単位:人)	89.00	74.00	99.00
	実績値			(単位:人)	74.00	99.00		
	達成度(%)			83.1	133.8			
	目標値の積算方法	コンクール、レッスン参加者の前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		87.57	68.32	
				一般財源(単位:千円)		84.27	65.90	
	②	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル入場者・見学者数	目標値	(単位:人)	1,399.00	980.00	966.00	
実績値			(単位:人)	980.00	966.00			
達成度(%)			70.1	98.6				
目標値の積算方法		コンクール、コンサート入場者+レッスン見学者の前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.61	7.00	
一般財源(単位:千円)		6.36	6.75					
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市民劇場七タコンサートでのソリストとしての共演やフレッシュコンサートでソリストとアンサンブルの両方で共演するなど、プロの演奏家と共演し、その共演者からも認められる才能ある若者の発掘、育成ができてようになってきました。今年度は、審査員とともに周知活動をおこなったことにより、アンサンブルや合唱など、幅広いジャンルからの応募があったので、今後も引き続き審査員とも協力しながら、幅広く才能ある将来性豊かな演奏家の発掘、育成につながるものになうよう工夫を重ねながら継続していきます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ティーンズクラシックフェスティバル事業	事業区分	その他
事務事業番号	00173				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00173
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ティーンズクラシックフェスティバルでは、再チャレンジする応募者や満を持しての応募など市独自の文化として着実に根付き始めています。フェスティバル参加者ということで、その後、他の催しに出演依頼がなされている場合があり、実力をつけていく機会が広まりつつあります。無料でのレッスン見学、予選入場、本選への市内中・高校生無料招待が周知されつつあることから、演奏者だけでなく鑑賞者の裾野を広げることにもつながっていると考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>普及育成型のコンクールを中心に、公益財団法人吹田市文化振興事業団と共催で実施しています。本選への市内の小・中・高校生の無料招待、出演者募集期間の前からティーンズを対象に「審査員による公開レッスン」を行うなど、クラシック音楽の担い手育成に努めています。メシアター少年少女合唱団のオペラ公演出演や、吹田市民劇場七タコンサートにおける過去の入賞者とプロのオーケストラとの共演など、プロの演奏家からも認められる才能ある若者の発掘、育成ができるようになってきました。平成27年度は、アンサンブルや合唱など幅広いジャンルからの応募や縁を見つけての市外からの多くの応募があり、参加者の大きな刺激になっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	文化振興審議会事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	委員数の削減											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興審議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	文化振興基本計画、市民文化の振興に関すること等												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市文化振興基本条例に基づき、文化の振興の総合的な推進を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりを進める												
(7) 事業概要	市民公募委員、文化の専門家、学識経験者からなる委員により、文化振興に関する重要な事項を、市長の諮問に応じ、調査審議するとともに答申し、文化振興基本計画を広く市民に周知する。 審議会開催時、出席委員に対し、委員報酬を支給する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		85	76	85	35	171							
	人件費	職員数	人	0.10	0.15	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	1,193	836	836	817						
	総事業費(A+B)		915	1,269	921	871	988							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		915	1,268	921	871	988							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		915	1,268	921	871	988						
財源計(C+D)		915	1,268	921	871	988								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	文化振興審議会開催回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:回)	2.00	1.00		
		達成度(%)		100.0	50.0			
	目標値の積算方法	文化振興審議会開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	436.00	871.00		
				一般財源(単位:千円)	436.00	871.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりが進む			達成状況	把握できない	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		文化振興基本条例に定める基本理念に基づき文化振興審議会を設置しています。積極的に市民文化の振興の総合的な推進の役割を果たすため、現行どおり継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化振興審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00174				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00174
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化振興基本計画の進捗状況について、昨年度に引き続きデータ収集を行いました。収集データの分析、活用を通じて、本市文化施策の推進状況を把握する方法について、引き続き検討することが課題となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	文化会館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正 内容	市内使用者が大・中・小ホールを使用し、入場料等を徴収しない場合のホール等の使用料設定											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市文化会館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民文化の向上を目的に、より効果的な管理運営を行う												
(7) 事業概要	文化会館の管理運営(大・中・小ホールを中心に展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などがあり、開館時間は午前9時から午後10時まで。休館日は12月29日から翌年1月3日までと、年4日間の臨時休館がある)													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	31	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		370,607	370,327	362,237	341,643	358,363							
	人件費	職員数	人	0.60	0.50	1.10	1.10	0.60						
		総額(B)	千円	4,980	3,974	9,188	9,188	4,902						
	総事業費(A+B)		375,587	374,301	371,425	350,831	363,265							
	特定財源(C)		80,997	84,498	82,770	84,632	43,835							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	80,997	84,498	82,770	84,632	43,835							
	市負担(D)		294,590	289,803	288,655	266,199	319,430							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		294,590	289,803	288,655	266,199	319,430								
財源計(C+D)		375,587	374,301	371,425	350,831	363,265								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市文化振興事業団										
			②											
			③											
	主な委託内容		施設管理運営業務全般											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開館日数	目標値	(単位:日)	331.00	331.00	331.00
			実績値	(単位:日)	330.00	332.00	/	
		達成度(%)		99.7	100.3			
	目標値の積算方法	365-(月2日保守点検日+臨時休館日+年末年始)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,136.78	1,056.72		
				一般財源(単位:千円)	859.38	801.80		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	ホール及び諸室平均稼働率(利用日)	目標値	(単位:%)	76.00	74.40	75.80
			実績値	(単位:%)	74.40	75.80	/	
		達成度(%)		97.9	101.9			
	目標値の積算方法	前年実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,042.16	4,628.38		
				一般財源(単位:千円)	3,811.75	3,511.86		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民文化の進行と創造を図るとともに利用者の利便性を追求した効果的・効率的な運営は、市民文化の振興を図り、個性豊かな地域文化を創造するために欠かすことのできない重要なものであり、現行どおり継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00175				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00175
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市と現在指定管理者である(公財)文化振興事業団が連携・協力し、公益目的事業の推進のため収支均衡を図りながら、多くの市民が集うコミュニティの場として、文化発信の拠点として効果的・効率的な管理運営が行われています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)において「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	文化会館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 4	細節 20			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 吹田市文化会館				
		目標(どういう状態にしたいのか)	老朽化している設備を改修することにより、利用者に充実した施設を供することを目的とする。					
		結果(どのような効果が得られるのか)	施設の充実を図ることにより、利用者が安心して使用することができる。					
(7)	事業概要	年度の経過とともに老朽化する設備の改修をおこなう。						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 2	項 1	目 31	大事業 1	中事業 1	小事業 2
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		6,977	21,319	0	9,632	84,052
		人件費	職員数 人	0.50	0.70	0.00	1.00	1.00
			総額(B) 千円	4,150	5,563	0	8,352	8,170
		総事業費(A+B)		11,127	26,882	0	17,984	92,222
		特定財源(C)		0	10	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	10	0	0	0
		市負担(D)		11,127	26,872	0	17,984	92,222
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	11,127		26,872	0	17,984	92,222		
財源計(C+D)		11,127	26,882	0	17,984	92,222		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	修繕実施件数	目標値	(単位:件)	2.00	0.00	1.00
			実績値	(単位:件)	3.00	1.00		
		達成度(%)		150.0	0.0			
	目標値の積算方法	修繕工事契約件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,431.33	17,984.00	
				一般財源(単位:千円)		8,431.33	17,984.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	調査件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00
実績値				(単位:件)	1.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		調査委託契約件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		25,294.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		25,294.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容			目標			
②	成果内容	老朽化している設備について、緊急性を要するものから順次改修を行っている。		達成状況	改修を行わなければ、物理的に貸館業務に支障が出るものを優先的に実施しているが、予算不足から工事を先送りしているものがある			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		施設の老朽化による不都合等は、市民の、文化に触れ文化活動に参加する機会の充実を阻害するものであり、早い時期の改修によって利用者により良い施設を提供する必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00176				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
評価点合計 (100点満点)	87			

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00176
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

老朽化による修繕対応の必要性が増加していますが、予算の都合上適切に対応できていないところがあるため、事業費だけでは評価できません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 5.</p>		
(3)現状分析	<p>平成27年度に、大規模改修工事に向けた基本・実施設計委託業者を選定しました。アンケートやバリアフリー市民会議などにおいて利用者意見の聴取を行い、改修項目の検討を重ねています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ施設情報システム管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成10年度	改正内容	スポーツ施設の適正利用を図るため、3年ごとの登録更新時に市外在住で市内在勤・在学の個人登録者及び団体登録者に登録条件を確認できる書類等の提出を求める規則改正。											
(2) 直近の改正	平成2年度													
(3) 根拠法令等	吹田市教育委員会スポーツ施設情報システムの利用に関する規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	スポーツ施設利用者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	スポーツ施設の利用の促進及び使用許可申請等の利便性の向上を図る。また、公平・公正な施設利用を目指す。												
(7) 事業概要	スポーツ施設情報システム(オーパス)では利用登録者のみならず、全ての施設利用希望者にインターネットや体育館等にある街頭端末機等から、スポーツ施設の案内や空き情報を公開している。また、利用登録者はインターネット等を通じ、利用申請や利用抽選の申込み等の手続きができるほか、施設使用料は翌月に預金口座から振替納付するなど、利用者の利便性の向上を図っている。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		10,090	10,037	10,056	11,485	10,331							
	人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.50						
		総額(B)	千円	9,130	8,742	9,188	9,188	12,255						
	総事業費(A+B)		19,220	18,779	19,244	20,673	22,586							
	特定財源(C)		1,066	1,093	1,049	1,009	1,050							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,066	1,093	1,049	1,009	1,050							
	市負担(D)		18,154	17,686	18,195	19,664	21,536							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		18,154	17,686	18,195	19,664	21,536								
財源計(C+D)		19,220	18,779	19,244	20,673	22,586								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 オーパスシステム登録人数	目標値	(単位:人)	11,628.00	11,662.00	11,936.00
			実績値	(単位:人)	10,798.00	11,166.00	
			達成度(%)		92.9	95.7	
	目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.74	1.85
				一般財源(単位:千円)		1.64	1.76
	②	指標内容 オーパスシステム利用件数	目標値	(単位:件)	225,167.00	206,977.00	197,278.00
実績値			(単位:件)	179,098.00	175,277.00		
達成度(%)			79.5	84.7			
目標値の積算方法		過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.12
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.11
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		549.09	604.47
				一般財源(単位:千円)		517.02	574.97
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		コンピューターシステムにより24時間体制で予約等が行えるなど、市民の利便性や公平性につながっており、また、平成26年度からの口座伝送化により事務の効率化が進んでいます。今後も、市民の利便性の向上、利用者の拡大を図っていくため、継続するものです。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ施設情報システム管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01008				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01008
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 12, 公平性: 8, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>平成26年度から口座振替データの伝送化により事務の効率化を図りました。平成28年4月1日より施設使用料金改定のため、システム改修をしました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ大会・教室等実施事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第22条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
	節	3												
	細節	40												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市内在住・在勤・在学の者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツイベント・プログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。 市民がそれぞれの年齢や体力、また、目的に応じて生涯を通してスポーツに親しむことができる。また、参加者がさらなる上の大会を目指して技術の向上に取り組むことで、競技スポーツの促進に繋がる。												
(7) 事業概要	市民誰もが参加できる身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会や、対外試合及び各種スポーツ教室を吹田市体育協会及び吹田市野外活動協会に委託して実施している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		28,369	27,907	29,004	29,004	28,882							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		32,519	31,881	33,180	33,180	32,967							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		32,519	31,881	33,180	33,180	32,967							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		32,519	31,881	33,180	33,180	32,967								
財源計(C+D)		32,519	31,881	33,180	33,180	32,967								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市体育協会											
			② 吹田市野外活動協会											
			③											
	主な委託内容		市長杯体育大会等・一日スポーツ教室等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 市長杯大会・各種教室開催回数	目標値	(単位:回)	89.00	89.00	92.00	
			実績値	(単位:回)	91.00	93.00		
			達成度(%)		102.2	104.5		
	目標値の積算方法	委託事業数(過去3年間の平均回数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		350.08	356.77	
				一般財源(単位:千円)		350.08	356.77	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		931.49	970.18	
				一般財源(単位:千円)		931.49	970.18	
	②	指標内容 スポーツ大会・教室等の参加者数 *実績報告は暫定です。		目標値	(単位:人)	39,976.00	40,035.00	40,009.00
				実績値	(単位:人)	36,494.00	36,494.00	
				達成度(%)		91.3	91.2	
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1、1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.87	0.91	
	一般財源(単位:千円)				0.87	0.91		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市長杯(旗)体育大会は、スポーツ教室等における日頃の練習の成果を発表する場となっており、生涯スポーツの推進において、また競技スポーツの普及においても必要不可欠な事業であり、長期的に継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会・教室等実施事業	事業区分	その他
事務事業番号	01009				

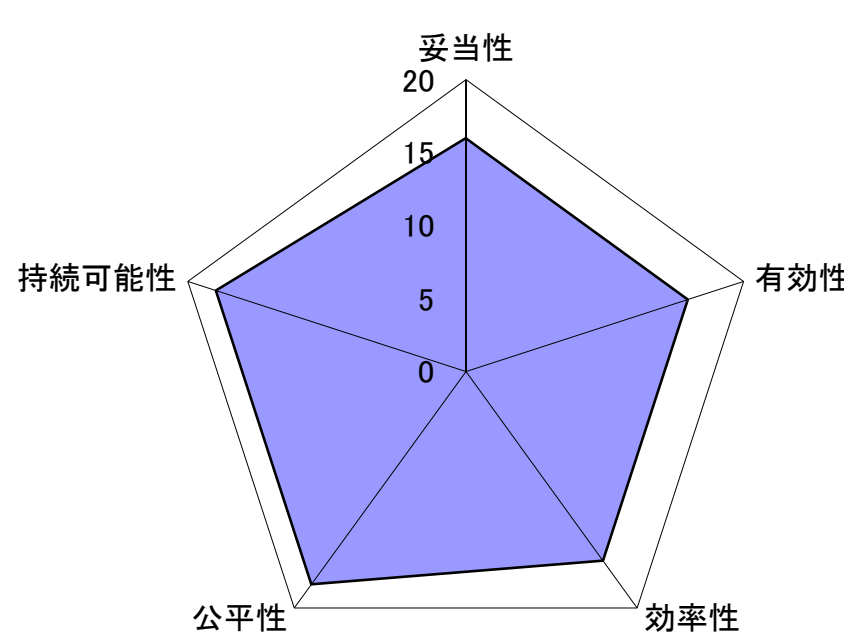
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01009
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民誰もが気軽に参加できる最も身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会は、市民がスポーツを楽しむ機会としてニーズが高い。また、36競技団体を傘下におく吹田市体育協会に委託することで、各大会等の企画・運営を円滑に遂行できていると考える。今後も、幅広い年齢層の市民がより参加しやすい大会となるよう工夫していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域スポーツ促進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	事業別により、事業の明確化を図るため。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の健康維持・増進													
(7)	事業概要	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を積極的に推進するため、吹田市スポーツ推進委員会に委託の「全市行事」(2行事)と各地区体育振興(協議)会に委託する「地区行事」(35地区×7行事)の事業を実施している。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,061	3,979	4,138	3,943	4,004							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60						
			総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012	4,902						
		総事業費(A+B)		9,041	8,748	9,150	8,955	8,906							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		9,041	8,747	9,150	8,955	8,906							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			9,041	8,747	9,150	8,955	8,906								
財源計(C+D)		9,041	8,747	9,150	8,955	8,906									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市スポーツ推進委員会										
				②	各地区体育振興(協議)会										
				③											
		主な委託内容		「全市行事」2行事「地区行事」35行事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域スポーツ振興事業の参加者数	目標値	(単位:人)	28,543.00	27,490.00	25,747.00
			実績値	(単位:人)	24,969.00	23,862.00	
		達成度(%)		87.5	86.8		
	目標値の積算方法 過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.35	0.38		
			一般財源(単位:千円)	0.35	0.38		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	254.74	261.84		
			一般財源(単位:千円)	254.74	261.84		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>広く市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくため、また地域住民の健康・体力づくりを推進していくために欠かせない事業であるとともに、スポーツを通じて地域住民の交流の機会となり、地域コミュニティ醸成の観点からも継続して実施する必要があります。</p> <p>また、地域スポーツ関係団体との連携により、今まで運動に親しみのなかった方にも参加してもらえよう、地域行事のPR方法について関係団体と協議を行い、運動実施者の増加を図ります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01010				

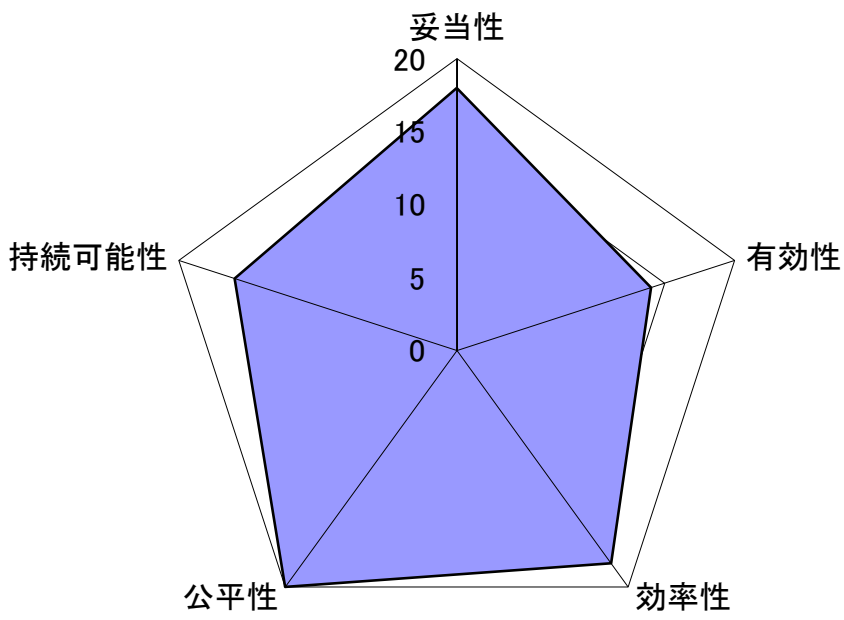
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01010
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>身近な場所で誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの提供ができており、地区行事においては各地区の体育振興(協議)会に委託することで、効果的・効率的な運営ができています。また、全市行事については、スポーツ推進委員会に委託することで、各地区のニーズを把握するとともに、各地区で参加者を募ることができており、地域に応じた事業運営ができていていると考える。 今後は、今までスポーツ活動に参加していなかった人にも参加してもらえよう、周知方法を工夫する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	各地区市民体育祭補助事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和35年度	改正 内容	補助対象事業に係る領収書等の支払いを証する書類の保存期間新たに設ける											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第22条、第23条、吹田市地区市民体育祭運営事業補助金要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域住民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	家族や近隣の方々と共に、スポーツイベントに参加することで、体を動かすことの楽しさを感じるとともに、地域住民の親睦を深めることができ、地域スポーツの活性化につながる。												
(7) 事業概要	スポーツを楽しみながら地域住民の健康づくりや親睦を図るため、34地区(36地区中、2小学校区合同開催が2地区)において地区市民体育祭運営委員会が開催している地区市民体育祭事業について、補助を行っている。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		13,150	13,107	13,451	13,072	13,478							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176							
	総事業費(A+B)		17,300	17,081	17,627	17,248	17,563							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		17,300	17,081	17,627	17,248							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		17,300	17,081	17,627	17,248	17,563							
財源計(C+D)		17,300	17,081	17,627	17,248	17,563								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	各地区市民体育祭運営委員会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 体育祭開催地区	目標値	(単位:地区)	33.00	34.00	34.00	
			実績値	(単位:地区)	32.00	33.00		
			達成度(%)		97.0	97.1		
	目標値の積算方法	地区数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		533.81	522.67	
				一般財源(単位:千円)		533.81	522.67	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上スポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		499.47	504.33	
				一般財源(単位:千円)		499.47	504.33	
	②	指標内容 各市民体育祭の参加者数		目標値	(単位:人)	74,036.00	73,082.00	64,668.00
				実績値	(単位:人)	56,915.00	58,945.00	
				達成度(%)		76.9	80.7	
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.30	0.29	
		一般財源(単位:千円)		0.30	0.29			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>広く市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくために欠かせない事業です。市民体育祭は、家族みんなで参加できる地域の恒例の行事となっており、地域コミュニティーの醸成の観点からも有効的な事業であり、今後も継続していく必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	各地区市民体育祭補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01011				

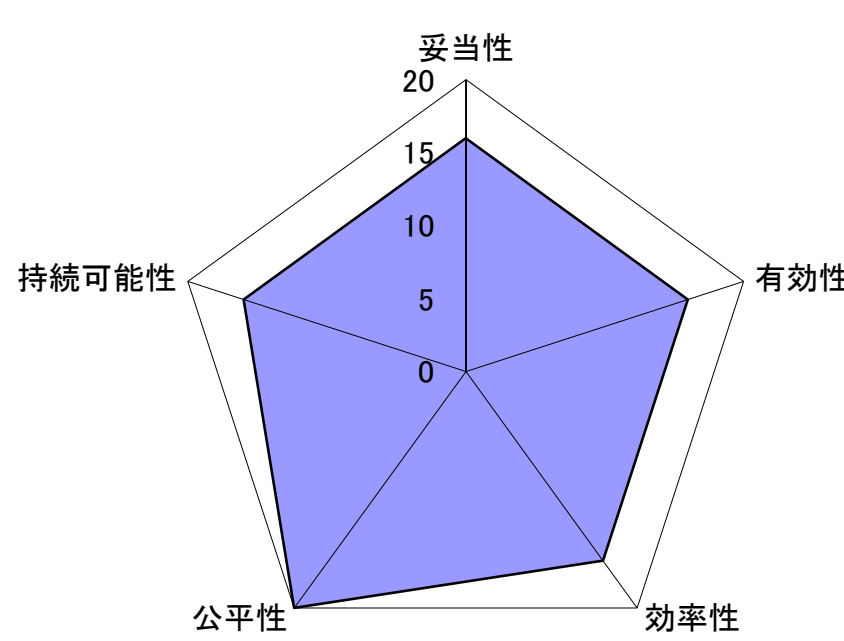
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01011
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>幼児から高齢者まですべての地域住民が参加できる市民体育祭は、地域社会に貢献している。各地区の体育祭運営委員会が中心となり、地域住民が楽しめる内容を企画して事業運営ができています。今後は、さらに高齢者や障がい者が参加しやすいプログラムが必要となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ大会参加経費助成事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正 内容	助成対象者、助成対象大会を縮小し、宿泊費の助成を廃止した。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市スポーツ大会参加助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市在住・在勤・在学で全国大会等に出場する者。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	優秀なスポーツ選手が全国規模の大会に参加しやすいよう支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	参加選手の費用負担を軽減、競技スポーツの普及・促進。												
(7) 事業概要	社会体育活動の一環として、国、地方公共団体、又は社会教育関係団体が主催(共催)する全国的な規模のスポーツ大会に、府代表として参加する者等に対して、その経費(交通費)の一部を助成する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	4
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		500	355	500	267	500							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		2,160	1,945	2,171	1,938	2,134							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,160	1,944	2,171	1,938	2,134							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		2,160	1,944	2,171	1,938	2,134						
財源計(C+D)		2,160	1,944	2,171	1,938	2,134								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	全国規模の大会に参加する選手。										
②			①に掲げる者の介助のために同行する者。											
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 スポーツ大会参加経費助成金の種目数	目標値	(単位:種目)	14.00	15.00	15.00	
			実績値	(単位:種目)	15.00	14.00		
			達成度(%)		107.1	93.3		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均種目数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		129.73	138.43	
				一般財源(単位:千円)		129.73	138.43	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:人)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:人)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査【4年に1回実施】をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		56.90	56.67	
				一般財源(単位:千円)		56.90	56.67	
	②	指標内容 スポーツ大会参加経費助成金の申請者数	目標値	(単位:人)	118.00	70.00	77.00	
実績値			(単位:人)	62.00	62.00			
達成度(%)			52.5	88.6				
目標値の積算方法	過去3年間の平均申請者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31.39	31.26		
			一般財源(単位:千円)		31.39	31.26		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		この事業は、大阪府の予選会を経て、全国大会に出場された方に対し、市が一定サポートをしていく事業であり、生涯スポーツの促進、また競技スポーツの普及につながっており、継続する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会参加経費助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01012				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01012
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生涯スポーツが普及していく中、年々多種目の大会が開催されるようになってきたが、申請の件数が前年度より減少しており、まだまだ周知ができてないと思われる。現在も市報やホームページにおいて、より広く市民に周知しているが、市報に関しては、掲載の頻度を増やしていくように努めていき、多くの市民により一層の周知の充実に努めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康づくり推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正内容	吹田市健康づくり推進事業補助金交付要領の第14条にて、保存期間10年の明記と第15条に、補助金の適正な執行状況を把握するため調査若しくは、質問させることができる文言を追加。											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条・吹田市健康づくり推進事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住・在勤・在学者の者(マラソンは、市外も含む)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康づくり事業に参加することが、今後、自分の体力や年齢に応じたスポーツ活動に参加するきっかけとなり、生涯スポーツの促進につながる。													
(7)	事業概要	市民の健康づくりを推進するために、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団が開催する「てくてくハイク」、「スカイクロス&シャトルゴルフ」、「スポーツフェスティバル」、「吹田万博国際ふれあいマラソン」の4事業に対して補助を行っている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	5
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		14,250	14,250	15,601	15,601	14,412							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		15,910	15,840	17,272	17,272	16,046							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		15,910	15,839	17,272	17,272	16,046							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	15,910		15,839	17,272	17,272	16,046									
財源計(C+D)		15,910	15,839	17,272	17,272	16,046									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	健康づくりフェスティバルの実施回数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00	
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,960.00	4,318.00	
				一般財源(単位:千円)		3,960.00	4,318.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		463.16	505.03	
				一般財源(単位:千円)		463.16	505.03	
	②	指標内容	健康づくりフェスティバル参加者数	目標値	(単位:人)	6,298.00	6,149.00	5,540.00
				実績値	(単位:人)	6,241.00	4,119.00	
				達成度(%)		99.1	67.0	
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.54	4.19	
一般財源(単位:千円)		2.54	4.19					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>生涯スポーツの推進という観点からも、市民の方々がいろいろな健康づくり推進事業に参加することで、身体を動かすことの楽しさを実感すると共に、このようなイベントを実施することで継続的にスポーツ活動をしていくためのきっかけづくりになっているため、事業を継続していく必要があると考えます。</p> <p>特に、万博ふれあいマラソンは、平成27年度は万博公園内の工事の関係で、ファミリーの部が開催されなかったため、参加者が減少しましたが、毎年4,000人を超える参加者で、日々の練習の成果を発揮できる機会でもあり、費用対効果は大きいです。</p> <p>また、他の3事業においても低体力者や子ども等、市民が気軽に参加できる事業として親しみのある事業になっています。今後も、各社会体育関係団体協力のもと、市民の健康づくりの場として取り組んでいく必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	健康づくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01013				

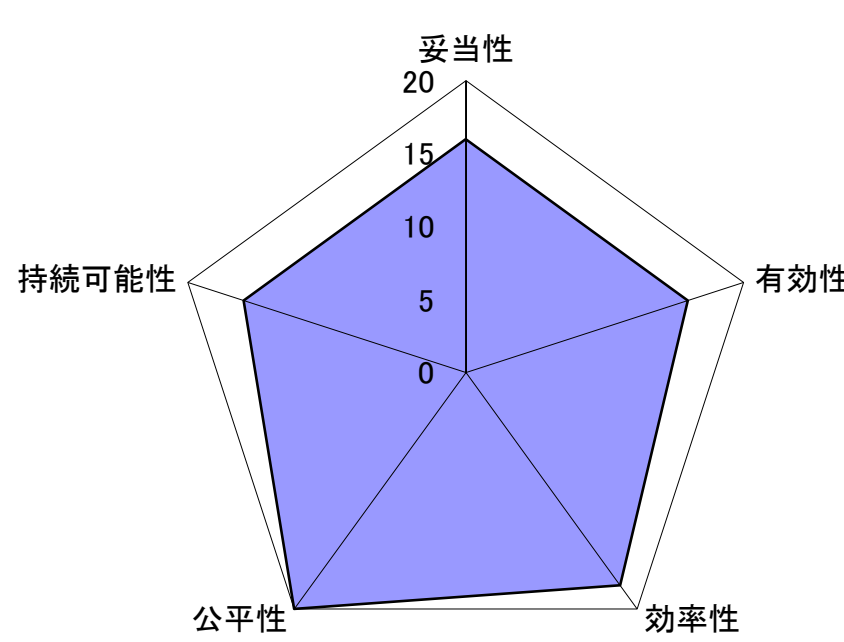
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01013
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>健康づくり推進事業を実施することにより、市民誰もが気軽にスポーツに触れ合う機会を提供できている。今後も市民ニーズを把握しながら充実していく事業内容となるよう取り組んでいく必要がある。さらに、健康寿命延伸の観点からも充実した事業となるように、福祉保健部及び健康づくり推進事業団と協議をしていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者スポーツ振興事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法 第2条							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 3	細節 40				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	障がい者他						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康、体力づくりや生きがいづくりを図ることができる。							
(7)	事業概要	体育館等の施設での視覚障がい者、肢体不自由児・者向け各種スポーツの講習会や障がい者体育祭を開催している							
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 10	項 6	目 3	大事業 2	中事業 1	小事業 6	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		1,144	1,102	1,088	0	0	
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	0	0
		総事業費(A+B)		2,804	2,692	2,759	0	0	
		特定財源(C)		525	436	525	0	0	
		(内訳)	国	350	291	350	0	0	
			府	175	145	175	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		2,279	2,255	2,234	0	0	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	2,279		2,255	2,234	0	0			
財源計(C+D)		2,804	2,691	2,759	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	障がい者体育祭実行委員会				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の実施回数	目標値	(単位:回)	12.00	13.00	0.00
			実績値	(単位:回)	13.00	0.00	
			達成度(%)		108.3	0.0	
	目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数(平成24年度は台風による中止のため、平成25年度以降は平成24年度目標値とします。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	212.46	0.00		
			一般財源(単位:千円)	172.08	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	78.71	0.00		
			一般財源(単位:千円)	63.36	0.00		
	②	指標内容 障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の参加者数	目標値	(単位:人)	675.80	675.80	602.06
実績値			(単位:人)	524.00	572.00		
達成度(%)			77.5	84.6			
目標値の積算方法 過去三年間の平均参加者数×1.1		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.14	0.00		
			一般財源(単位:千円)	4.14	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	活動内容			目標	
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		障がい者スポーツ活動に参加する環境が不十分の中、行政が積極的に関与してサービスを提供することは障がい者の健康維持増進やいきがづくり・仲間づくりとなっており、事業を継続していく必要があります。平成26年度より講習会を見直し、平成27年度も障がい者の方々へスポーツをする機会を増やすことができました。今後も、参加者の年齢、体力に応じた見直しを図りながら継続していきます。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	障がい者スポーツ振興事業	事業区分	その他
事務事業番号	01014				

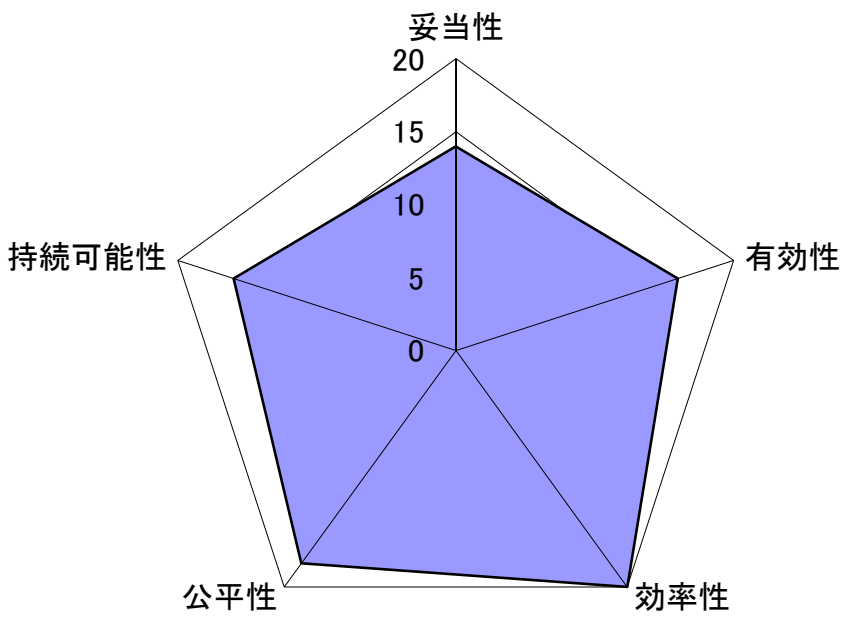
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01014
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>障がい者スポーツ講習会や障がい者体育祭の参加者は、年々参加者の高齢化で人数も減少している状況であるため、事業の改善をしていく必要がある。特に障がい者体育祭は、肢体不自由児・者の参加が著しく減少し、送迎バスに関することが要因であると思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	生涯スポーツ指導事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法 第21条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
	節	3												
	細節	40												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民2歳児以上											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ活動関係団体等運動に関する講義や実技指導、また、助言を行うことにより、その団体の活動内容の充実を図り、週1回の運動実施率50%達成を目指す。												
(7) 事業概要	地域住民の健康増進を目的とし他部署や地域、団体が実施する事業に専門職員を派遣し、運動に関する講義や実技指導を行い、生涯スポーツの推進を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	7
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		37	37	133	133	177							
	人件費	職員数	人	14.00	12.00	12.00	12.00	12.00						
		総額(B)	千円	116,200	95,364	100,224	100,224	98,040						
	総事業費(A+B)		116,237	95,401	100,357	100,357	98,217							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		116,237	95,401	100,357	100,357	98,217							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		116,237	95,401	100,357	100,357	98,217								
財源計(C+D)		116,237	95,401	100,357	100,357	98,217								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 派遣事業依頼件数	目標値	(単位:件)	214.50	249.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	383.00	0.00		
		達成度(%)		178.6	0.0			
	目標値の積算方法 過去3年間の平均依頼件数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	290.59	0.00			
			一般財源(単位:千円)	290.59	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:回)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:回)	34.20	34.20		
		達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,254.24	2,934.42			
			一般財源(単位:千円)	3,254.24	2,934.42			
	②	指標内容 派遣事業参加者数 <運動あそびプログラム(幼稚園・保育園)の参加者数を除く>	目標値	(単位:人)	6,396.10	9,305.60		113.00
			実績値	(単位:人)	13,604.00	25,004.00		
		達成度(%)		212.7	268.7			
目標値の積算方法 新規派遣件数 (運動のきっかけづくりとした新規派遣件数を維持:平成28年度より変更))	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8.18	4.01				
		一般財源(単位:千円)	8.18	4.01				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>今まで運動に親しみのなかった方々にも運動の楽しさを体験できるプログラムの提供を行っており、平成27年度では、平成26年度より189件多い572件の運動指導依頼件数がありました。今後は、運動のきっかけづくりとして「新規派遣団体」に対し、運動の継続実施につながる派遣を充実させ、事業を展開していきます。</p> <p>特に、成人の運動習慣の定着による健康寿命の延伸や子どもの低体力化解消対策は、市民の健康づくりに欠かせない事業であり、今後も一般事務(体育)職員の知識や技術を活用し、実施主体や方法について検討しながら、事業を継続するシステムの構築を目指します。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	生涯スポーツ指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	01015				

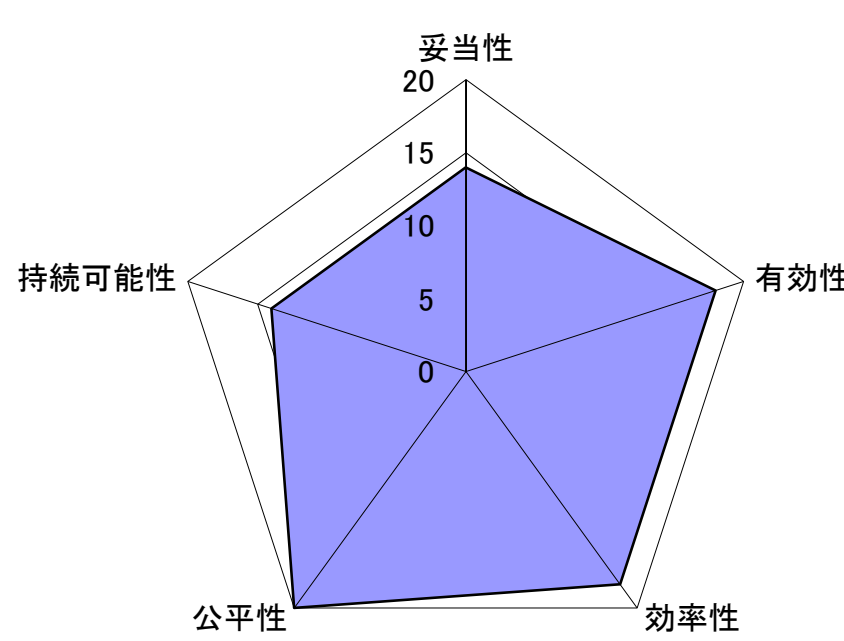
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01015
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今まで運動に親しみのなかった方を中心に、身近な場所で気軽に運動に関する講義や実技指導を提供し、運動の習慣化を図り、健康寿命の延伸、生涯スポーツの推進に大きく貢献している事業である。 また、小学校の児童や教諭を対象とした事業は、運動へのきっかけづくり、低体力の解消に貢献している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	学校体育施設開放事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	管理指導員の制度を見直し、自主管理方式を導入することにより、管理指導員報償費を廃止した。											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第13条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民及び地域住民で構成する団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツを行う場所及びスポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体育・スポーツ活動への参加を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図る。												
		すべての人が身近な場所でスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して、地域住民を対象に学校体育施設を開放している。事業運営については、各地区学校体育施設開放運営委員会に委託しており、昼間開放はすべての小中学校で、また、夜間開放はすべての小学校と中学校13校で実施している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		23,778	23,740	24,759	23,716	24,747							
		人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80						
			総額(B)	千円	6,640	6,358	6,682	6,682	6,536						
		総事業費(A+B)		30,418	30,098	31,441	30,398	31,283							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		30,418	30,098	31,441	30,398	31,283							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			30,418	30,098	31,441	30,398	31,283								
財源計(C+D)		30,418	30,098	31,441	30,398	31,283									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	各小・中学校学校体育施設開放運営委員会										
				②											
				③											
		主な委託内容		使用調整・管理・運営全般											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 学校体育施設開放を実施している小中学校の数(昼間開放校数+夜間開放校数)	目標値	(単位:校)	106.00	106.00	/
			実績値	(単位:校)	101.00	101.00	
			達成度(%)		95.3	95.3	
	目標値の積算方法 全小中学校において、昼間及び夜間開放を実施した場合の学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	297.19	300.97		
			一般財源(単位:千円)	297.19	300.97		
	②	指標内容 学校体育施設開放実施日数	目標値	(単位:日)	19,310.00	19,257.00	
実績値			(単位:日)	12,460.00	12,798.00		
達成度(%)			64.5	66.5			
目標値の積算方法 学校体育施設開放日数(昼・土・日・祝・長期休暇×実施校数夜、6割×実施校数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.41	2.38			
		一般財源(単位:千円)	2.41	2.38			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
			達成度(%)		68.4	68.4	
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	877.66	888.83		
			一般財源(単位:千円)	877.66	888.83		
	②	指標内容 学校体育施設開放参加数	目標値	(単位:人)	556,149.00	534,448.00	
			実績値	(単位:人)	461,608.00	479,969.00	
			達成度(%)		83.0	89.8	
目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.07	0.06			
		一般財源(単位:千円)	0.07	0.06			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		身近な学校体育施設を利用したこの事業は、市民の体育・スポーツ活動への参加を促進し、地域住民の体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であり、生涯スポーツ社会の実現に向けて長期に継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	学校体育施設開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	01016				

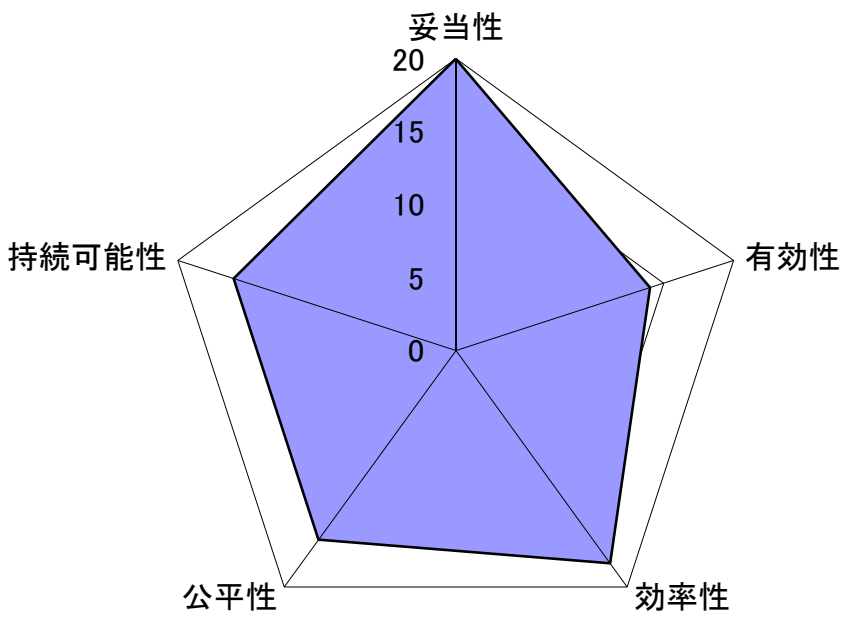
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01016
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>学校体育施設は、地域住民誰もが気軽にスポーツに慣れ親しむことができる場となっている。目的の趣旨から受益者負担は求めているため、有効性は低くなっているが、事業運営を各地区の学校体育施設開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができていると考える。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校運動場ナイター施設開放事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正内容	ナイター施設を設置している中学校7校のうち、5校が冬期開放を実施。											
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法 第13条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	ナイター施設を設置した各中学校ごとに定められた地域に在住、在勤、在学の者で構成された団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツを行う場所を提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
(7) 事業概要	スポーツに親しむ機会が少ない成人が、身近な場所で仲間とスポーツを楽しむことができるように、中学校運動場ナイター施設を開放している。事業運営については、中学校ナイター開放運営委員会に委託しており、7中学校で実施し、うち5校については、冬期(12月～3月)も実施している。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,060	5,131	5,231	5,132	5,695							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		10,210	9,105	9,407	9,308	9,780							
	特定財源(C)		0	0	0	0	3,490							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	3,490							
	市負担(D)		10,210	9,105	9,407	9,308	6,290							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		10,210	9,105	9,407	9,308	6,290								
財源計(C+D)		10,210	9,105	9,407	9,308	9,780								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	各中学校ナイター開放運営委員会										
			②											
			③											
	主な委託内容		使用調整・管理・運営全般											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 通常期(4月~11月)に加え、冬期(12月~3月)も開放している中学校数	目標値	(単位:校)	7.00	7.00	/
			実績値	(単位:校)	5.00	5.00	
			達成度(%)		71.4	71.4	
	目標値の積算方法 ナイター施設を設置している全中学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,821.20	1,861.60		
			一般財源(単位:千円)	1,821.20	1,861.60		
	②	指標内容 ナイター施設開放日数(7校)	目標値	(単位:回)	1,387.00	1,387.00	
実績値			(単位:回)	1,044.00	1,044.00		
達成度(%)			75.3	75.3			
目標値の積算方法 ナイター施設開放可能日数(5校:365日、2校:244日)×0.6		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8.72	8.92		
			一般財源(単位:千円)	8.72	8.92		
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
			達成度(%)		68.4	68.4	
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	266.26	272.16		
			一般財源(単位:千円)	266.26	272.16		
	②	指標内容 ナイター施設開放参加者数	目標値	(単位:人)	28,902.00	28,414.00	
実績値			(単位:人)	26,403.00	26,360.00		
達成度(%)			91.4	92.8			
目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数×1.1		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.34	0.35		
	一般財源(単位:千円)		0.34	0.35			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		身近な学校運動場ナイター施設を利用したこの事業は、市民、特に体を動かす機会が少なくなりがちな勤労者の体育・スポーツ活動への参加を促進し、体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であり、生涯スポーツ社会の実現に向けて長期に継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	中学校運動場ナイター施設開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	01017				

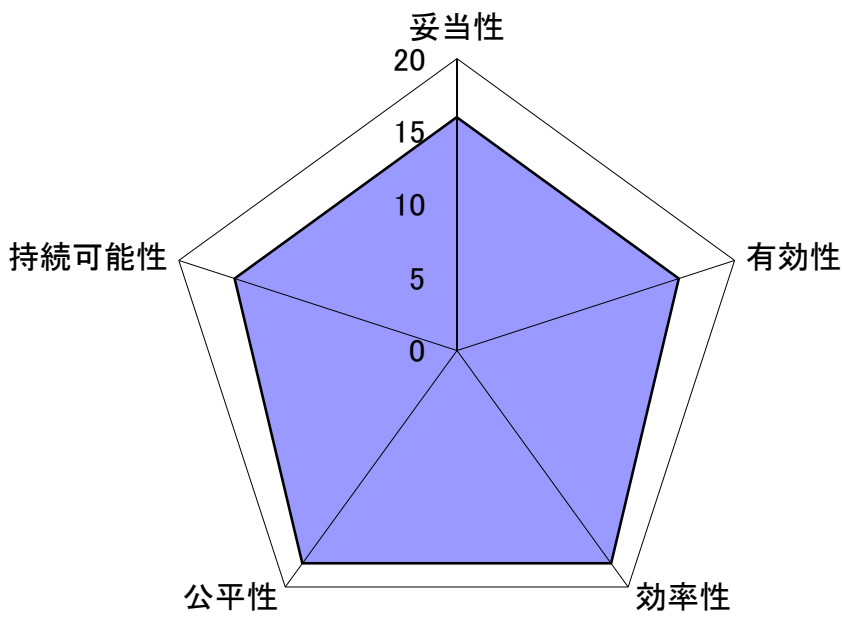
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01017
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>冬期開放をしていない学校が2校あり、地域住民のニーズを把握しながら、冬期開放を検討しているところである。また、事業運営については、各中学校ナイター開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができていていると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山武道教室事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正 内容	管理指導員の制度を見直し、自主管理方式を導入することにより、管理指導員報償費を廃止した。											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法 第13条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体育・スポーツ・武道の振興を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図る。												
		身近な場所でスポーツになれ親しむため、千里山武道教室運営委員会に委託し、千里山・佐井寺図書館、千里第二小学校及び千里第三小学校で武道教室を開催している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	2	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		68	57	68	46	68							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		1,728	1,647	1,739	1,717	1,702							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,728	1,646	1,739	1,717	1,702							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,728	1,646	1,739	1,717	1,702								
財源計(C+D)		1,728	1,646	1,739	1,717	1,702									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	千里山武道教室運営委員会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 千里山武道教室実施回数	目標値	(単位:回)	220.00	223.00	209.00	
			実績値	(単位:回)	226.00	178.00		
			達成度(%)		102.7	79.8		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.29	9.65	
				一般財源(単位:千円)		7.29	9.65	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		48.16	50.20	
				一般財源(単位:千円)		48.16	50.20	
	②	指標内容 千里山武道教室の延べ参加者数	目標値	(単位:人)	6,346.00	5,800.00	4,765.00	
実績値			(単位:人)	4,652.00	3,507.00			
達成度(%)			73.3	60.5				
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.35	0.49		
			一般財源(単位:千円)		0.35	0.49		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		身近な場所で武道に親しむ事ができるこの事業は、市民の体力向上や青少年の健全育成のためにも必要な事業であり、生涯スポーツの推進という観点からも今後も継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里山武道教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	01018				

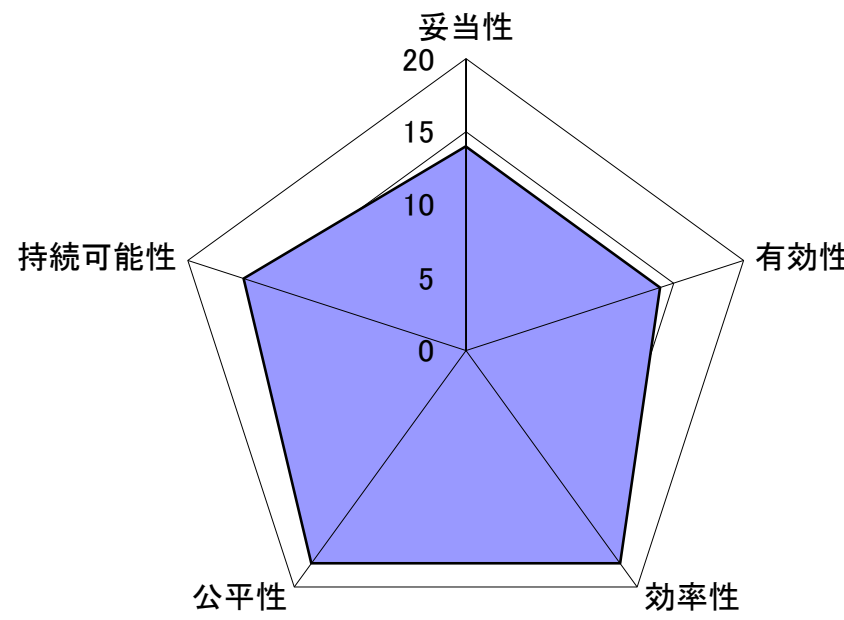
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01018
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>身近な場所で武道の教室に参加でき、市民のニーズに対応しているところはあるが、指導者の確保が困難になり休講している教室もあり、今後、千里山武道教室運営委員会と調整をしていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域スポーツ指導者養成・研修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第11条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市スポーツ推進委員、吹田市社会体育リーダー等指導者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域スポーツ指導者・高齢者や障がい者スポーツ指導者の養成及び資質の向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域スポーツ指導者の資質の向上により、より安全できめ細かなプログラムの提供ができ、身近な場所でのスポーツ活動への参加を促進することが出来る。													
(7)	事業概要	地域スポーツの推進を図るため、住民への指導や助言、企画立案を行う社会体育リーダーを養成するとともに、事業の実施に係る連絡調整、実技指導、スポーツに関する指導助言を行うスポーツ推進委員と社会体育リーダーの資質の向上を目的として各種研修会を実施している。また、高齢者スポーツや障がい者スポーツの指導者に対し、指導力、実践力の向上を目指した講習会を実施している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,706	1,493	1,585	1,493	2,304							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		5,856	5,467	5,761	5,669	6,389							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		5,856	5,467	5,761	5,669	6,389						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			5,856	5,467	5,761	5,669	6,389								
財源計(C+D)		5,856	5,467	5,761	5,669	6,389									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域スポーツ指導者養成講座の受講者数	目標値	(単位:人)	110.00	121.00	0.00
			実績値	(単位:人)	131.00	131.00	
			達成度(%)		119.1	108.3	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.71	43.27	
				一般財源(単位:千円)	41.71	43.27	
	(2) 成果指標	②	指標内容 地域スポーツ指導者研修会の開催数	目標値	(単位:回)	41.00	41.00
実績値				(単位:回)	37.00	37.00	
達成度(%)				90.2	90.2		
目標値の積算方法		過去3年間の開催数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	147.68	153.22	
				一般財源(単位:千円)	147.68	153.22	
(3) が困難な場合		①	指標内容 地域スポーツ指導者養成講座の認定者数	目標値	(単位:人)	61.00	61.00
	実績値			(単位:人)	61.00	34.00	
	達成度(%)			100.0	55.7		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均認定者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	89.57	166.74	
				一般財源(単位:千円)	89.57	166.74	
	②	指標内容 地域スポーツ指導者研修会の参加者数	目標値	(単位:人)	1,543.00	1,776.00	1,284.06
実績値			(単位:人)	1,222.00	965.00		
達成度(%)			79.2	54.3			
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.47	5.87	
一般財源(単位:千円)	4.47	5.87					
①	活動内容				目標		
②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域住民のニーズに応じたプログラムを提供していくため、地域における、体育・スポーツ活動の実践的指導・助言にあたる指導者の養成と資質の向上を目的とした研修会を実施する必要がある。講座、研修内容の見直しを行いながら、長期的に継続していく。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01019				

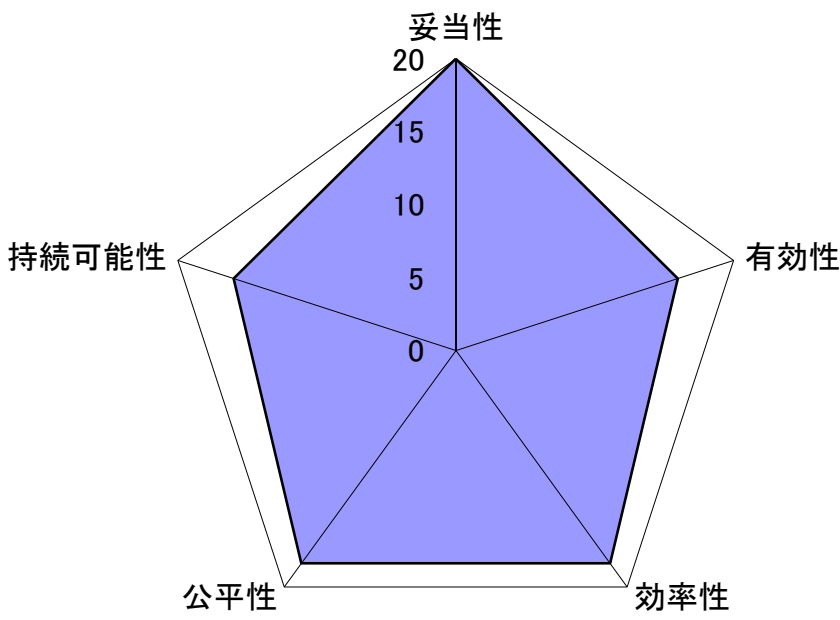
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01019
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域スポーツ指導者の養成は、地域スポーツ関係団体との協力のもと実施している事業であり、効果的な事業の企画運営ができていると考える。高齢者スポーツ指導者講習会は、高齢者の特性を理解するために必要な知識や技術を習得できる研修内容を実施している。研修会については、指導者の資質向上を目的として、市民ニーズに対応していくためのより良い研修内容を検討していく方向である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	競技スポーツ指導者養成・研修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第11条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	競技スポーツ指導者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	競技スポーツ指導者の養成及び研修をすることにより、技術の向上だけでなく、安全対策やトレーニング方法などあらゆる角度から指導者として資質向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	競技スポーツ指導者の資質の向上により、安全できめ細かなプログラムを提供することができ、市民自身の目的や体力に応じたスポーツ活動に取り組むことができる。													
(7)	事業概要	各競技スポーツの指導者を養成・確保するため、吹田市体育協会に委託して、実技養成講座やスポーツ理論を含めた共通講義、また各種研修会を実施している。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	3	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,001	1,000	1,001	558	1,001							
		人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
			総額(B)	千円	2,075	1,987	2,088	2,088	2,043						
		総事業費(A+B)		3,076	2,987	3,089	2,646	3,044							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		3,076	2,987	3,089	2,646	3,044						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,076	2,987	3,089	2,646	3,044								
財源計(C+D)		3,076	2,987	3,089	2,646	3,044									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会										
				②											
				③											
		主な委託内容		競技スポーツ指導者養成事業の企画運営等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 スポーツ指導者養成に関わる講座開催数	目標値	(単位:回)	25.00	25.00	25.00	
			実績値	(単位:回)	25.00	5.00		
			達成度(%)		100.0	20.0		
	目標値の積算方法	依頼している講座開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		119.52	529.20	
				一般財源(単位:千円)		119.52	529.20	
	②	指標内容 研修実施回数	目標値	(単位:回)	17.00	18.00	19.00	
実績値			(単位:回)	21.00	16.00			
達成度(%)			123.5	88.9				
目標値の積算方法		過去3年間の実績値平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		142.29	165.38	
				一般財源(単位:千円)		142.29	165.38	
(2) 成果指標	①	指標内容 スポーツ指導員の認定者数	目標値	(単位:%)	55.00	50.00	51.00	
			実績値	(単位:%)	52.00	20.00		
			達成度(%)		94.5	40.0		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均認定者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		57.46	132.30	
				一般財源(単位:千円)		57.46	132.30	
	②	指標内容 スポーツ指導員の研修会参加者数	目標値	(単位:人)	721.00	753.00	864.00	
実績値			(単位:人)	770.00	807.00			
達成度(%)			106.8	107.2				
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.88	3.28	
	一般財源(単位:千円)				3.88	3.28		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		生涯スポーツの推進ために、各競技スポーツ指導員を養成することは行政が担うべき事業であると考えられる。今後も、市民が安心して様々なスポーツプログラムに参加できるよう、各競技団体と協力しながら、指導者の養成及び資質の向上を図っていくことは重要な施策であり、将来的な展望を持ち計画的に取り組んでいく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	競技スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01020				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01020
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各種競技スポーツの指導者を養成し、その指導員の資質向上を図ることを目的として研修会等を開催することで、市民に、より質の高いプログラムを提供することができている。今後はさらに多くの種目において指導者を養成するとともに、各大会や共催教室においても高齢者の参加が増え、適正な指導プログラムの提供、指導現場における安全管理等も含めて、指導者の資質の向上を図る取り組みをしていく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	社会体育関係団体育成事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和43年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第34条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
	節	3												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	・吹田市スポーツ推進委員会 ・吹田市社会体育リーダー協議会 ・吹田市体育協会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各団体が、構成員間の親和を深め、情報を共有することにより、組織力強化を図る。 各スポーツ事業の運営や指導等の問題点を知り、スムーズなスポーツプログラムの展開ができる。												
(7) 事業概要	多種多様なスポーツ種目が普及しつつある中、市民ニーズに応えたきめ細やかなスポーツプログラムを提供していくため、社会体育関係団体の育成を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	3	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		185	185	285	175	285							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
		総額(B)	千円	2,075	1,987	2,088	2,088	2,043						
	総事業費(A+B)		2,260	2,172	2,373	2,263	2,328							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,260	2,172	2,373	2,263	2,328							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,260	2,172	2,373	2,263	2,328								
財源計(C+D)		2,260	2,172	2,373	2,263	2,328								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市スポーツ推進委員会		② 吹田市社会体育リーダー協議会		③ 吹田市体育協会							
			主な委託内容		団体の指導者研修									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①		②		③							
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 社会体育団体研修会の開催数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	/	
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 主要社会体育団体の数 吹田市スポーツ推進委員会・吹田市社会体育リーダー協議会、吹田市体育協会	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	724.00	754.33			
			一般財源(単位:千円)	724.00	754.33			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	63.51	66.17			
			一般財源(単位:千円)	63.51	66.17			
	②	指標内容 社会体育団体研修会の参加者数	目標値	(単位:人)	244.00	216.00		/
			実績値	(単位:人)	185.00	190.00		
			達成度(%)		75.8	88.0		
目標値の積算方法 過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.74	11.91				
		一般財源(単位:千円)	11.74	11.91				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		生涯スポーツを推進していくためには、各社会体育団体の育成は必要不可欠なものである。今後も各団体の組織強化と、それぞれのスポーツ指導員の資質の向上を図るため、事業を継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	社会体育関係団体育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01021				

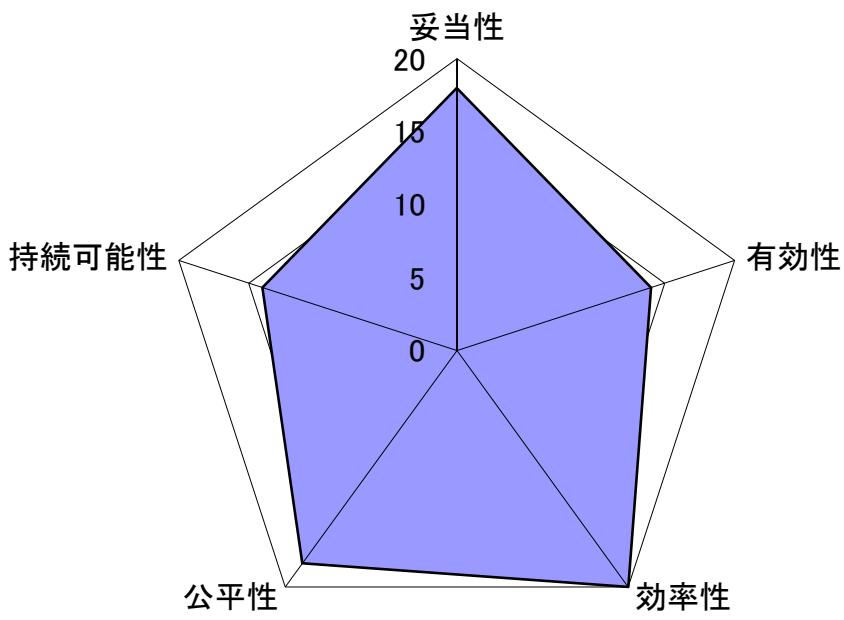
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01021
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各社会体育関係団体が自らの役割を担っていくために必要な研修会を実施しているが、今後も常に時代の流れを視野に入れた研修内容になるように各団体と調整し、多種多様な市民ニーズに応えるための取組みができる内容とした研修会として必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツグラウンド管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	スポーツグラウンド(野球・テニス)利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使っていただけるよう維持管理を行う。 市民の体力の向上及び健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、スポーツグラウンド(5か所)の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		90,733	90,356	90,476	90,393	92,713							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.20	0.20	0.30						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	1,671	1,671	2,451						
	総事業費(A+B)		93,223	92,741	92,147	92,064	95,164							
	特定財源(C)		29,369	29,253	27,713	30,391	28,078							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	29,369	29,253	27,713	30,391	28,078							
	市負担(D)		63,854	63,487	64,434	61,673	67,086							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		63,854	63,487	64,434	61,673	67,086								
財源計(C+D)		93,223	92,740	92,147	92,064	95,164								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループ										
			②											
			③											
	主な委託内容		スポーツグラウンドの管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スポーツグラウンド利用人数	目標値	(単位:人)	265,097.00	265,230.00	268,675.00
			実績値	(単位:人)	252,038.00	248,744.00	/	
		達成度(%)		95.1	93.8			
	目標値の積算方法	過去3年間の実績人数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.37	0.37		
				一般財源(単位:千円)	0.25	0.25		
	(2) 成果指標	②	指標内容	スポーツグラウンドの利用率 (利用時間合計/利用可能時間合計 × 100)	目標値	(単位:%)	67.70	68.10
実績値				(単位:%)	66.90	66.00	/	
達成度(%)			98.8	96.9				
目標値の積算方法		過去3年間の利用率平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,386.82	1,394.91		
				一般財源(単位:千円)	927.07	934.44		
(3) 困難な場合		①	指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	/	
	達成度(%)		68.4	68.4				
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,712.81	2,691.93		
				一般財源(単位:千円)	1,813.48	1,803.30		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>野球、テニス等やスポーツ教室、大会だけでなく、中の島・桃山台グラウンドでは空きを利用して、サッカー等の利用を行い、有効活用を図っていますが、さらに、平成28年1月からグラウンドゴルフ、ラクロス等も利用できるようにしました。</p> <p>今後も、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民に安心・安全に利用してもらえるスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01022				

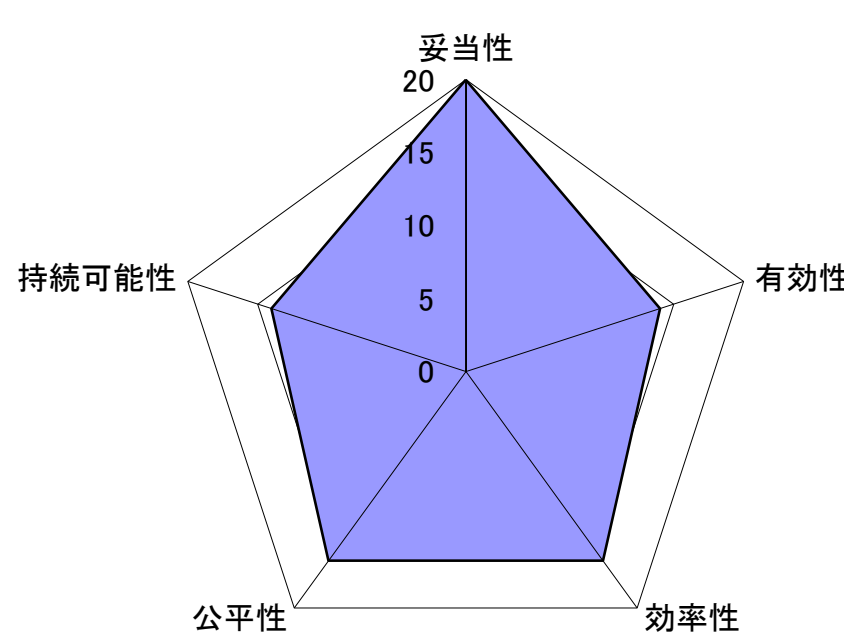
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01022
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民のスポーツ・レクリエーションの場として、テニスコート及び野球場を開放しており、特にテニスコートは、多くの市民に利用されています。 また、野球場については、利用の少ない平日には、グラウンドゴルフ等野球以外の種目の教室や大会を開催し、活用の幅が広がっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	運動広場等管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	運動広場利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の健康の保持・増進を図るとともに、地域住民のコミュニティの場を提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力向上並びに健康の増進が図られる。													
(7)	事業概要	市の遊休地(青山台、藤白台)2か所と府からの借用地(新御堂、春日)2か所を利用し、土地の利用が決定するまでの間、地域の市民にスポーツ・レクリエーション及び憩いの場を提供する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	5	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,246	584	5,095	4,896	235							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		6,906	2,174	6,766	6,567	1,869							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		6,906	2,173	6,766	6,567	1,869						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			6,906	2,173	6,766	6,567	1,869								
財源計(C+D)		6,906	2,173	6,766	6,567	1,869									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	地域(藤白台連合自治協議会等)へ運営・管理を依頼している。													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動			目標	地域による自主的な運営のため、数値目標は設定していない。	
	②	成果内容	地域の自主管理のもと、スポーツ・レクリエーション活動を行う。			達成状況	実績数等は不明。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		暫定的な遊休地利用として、地域住民のスポーツの機会の創設だけでなく、地域住民の憩いの場としても活用されています。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動広場等管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01023				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	10	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	8	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	56	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01023
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地の利用が決定されるまでの間、暫定的に運動広場として整備し、地域住民のスポーツ活動及び憩いの場として活用されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

暫定的な遊休地利用として、地域住民のスポーツ機会の創設及び地域住民の憩いの場として活用されています。
 青山台・藤白台運動広場は公共施設最適化計画の動向により使用できなくなることがあります。

事務事業評価調書

事務事業名	片山市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和47年度	改正内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民体育館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、片山市民体育館の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		98,334	98,352	100,238	99,010	99,094							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
	総事業費(A+B)		99,164	99,942	101,074	99,846	99,911							
	特定財源(C)		16,008	18,457	17,193	14,359	17,617							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	16,008	18,457	17,193	14,359	17,617							
	市負担(D)		83,156	81,484	83,881	85,487	82,294							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		83,156	81,484	83,881	85,487	82,294								
財源計(C+D)		99,164	99,941	101,074	99,846	99,911								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
			②											
			③											
	主な委託内容		片山市民体育館の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 片山市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	142,909.00	143,692.00	146,196.00
			実績値	(単位:人)	136,110.00	133,464.00	
		達成度(%)		95.2	92.9		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.73	0.75		
			一般財源(単位:千円)	0.60	0.64		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,899.42	2,919.47		
			一般財源(単位:千円)	2,376.58	2,499.62		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から個人使用や1日教室の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	片山市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01024				

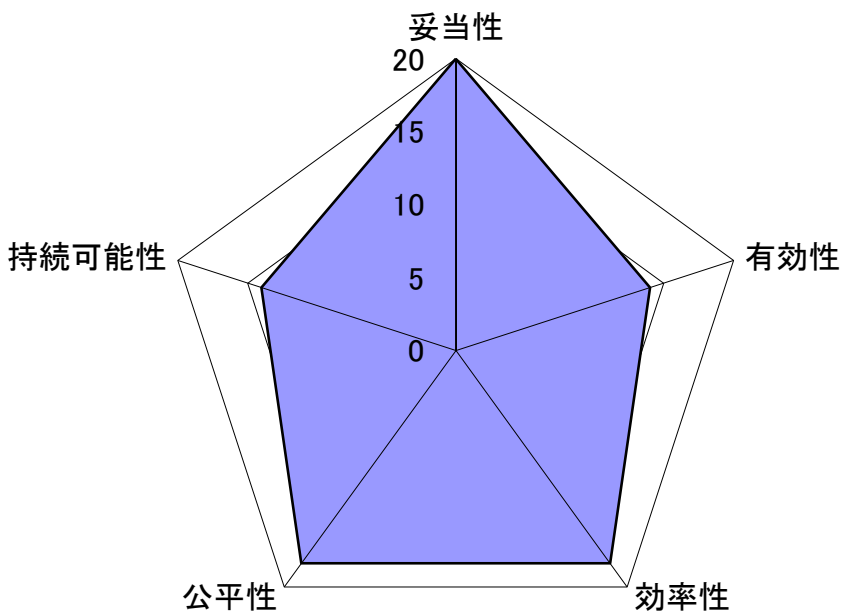
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01024
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度から指定管理者制度に移行し、施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成27年度に個人使用者登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請書への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北千里市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、北千里市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	6	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		78,355	78,335	79,056	78,552	79,576							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
		総事業費(A+B)		79,185	79,925	79,892	79,388	80,393							
		特定財源(C)		17,582	18,220	17,832	13,603	18,057							
		(内訳)	国	154	124	154	154	154							
			府	77	62	77	77	77							
			その他	17,351	18,034	17,601	13,372	17,826							
		市負担(D)		61,603	61,704	62,060	65,785	62,336							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	61,603		61,704	62,060	65,785	62,336									
財源計(C+D)		79,185	79,924	79,892	79,388	80,393									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					北千里市民体育館の管理・運営						
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	北千里市民体育館利用人数	目標値	(単位:人)	136,154.00	126,451.00	125,982.00
			実績値	(単位:人)	112,053.00	120,775.00	/	
		達成度(%)			82.3	95.5		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.71		0.66
				一般財源(単位:千円)		0.55	0.54	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	/	
		達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,314.33		2,321.29
				一般財源(単位:千円)		1,797.66	1,923.54	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から個人使用や1日教室の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	北千里市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01025				

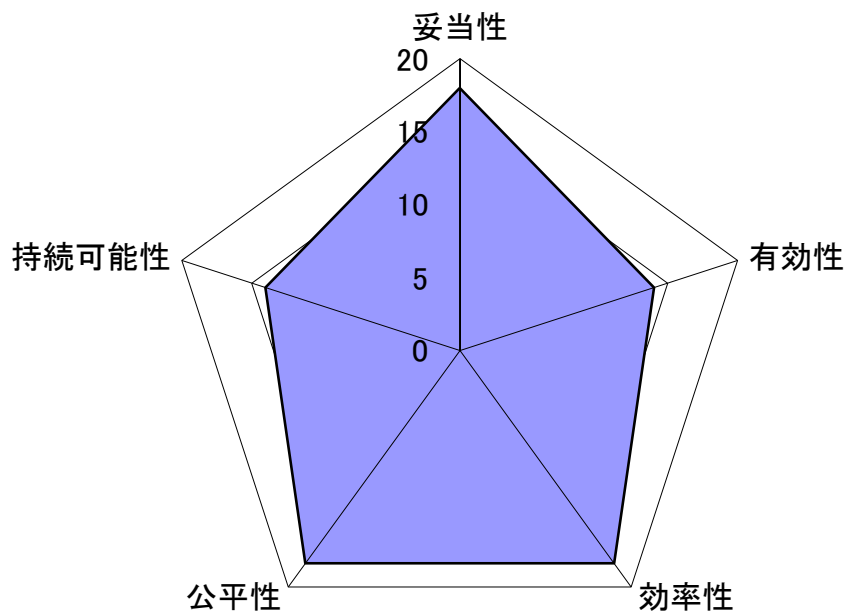
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01025
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 12, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>平成25年度から指定管理者制度に移行し、施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。平成27年度に個人使用者登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請書への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、山田市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	6	大事業	1	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		80,179	79,422	79,954	79,892	85,515							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
		総事業費(A+B)		81,009	81,012	80,790	80,728	86,332							
		特定財源(C)		18,403	20,158	19,563	14,356	19,840							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	18,403	20,158	19,563	14,356	19,840							
		市負担(D)		62,606	60,853	61,227	66,372	66,492							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	62,606		60,853	61,227	66,372	66,492									
財源計(C+D)		81,009	81,011	80,790	80,728	86,332									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					山田市民体育館の管理・運営						
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 山田市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	177,668.00	177,120.00	177,119.00
			実績値	(単位:人)	162,127.00	163,189.00	
		達成度(%)		91.3	92.1		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.49	0.49		
			一般財源(単位:千円)	0.38	0.41		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:)	50.00	50.00
	実績値			(単位:)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,346.14	2,360.47		
			一般財源(単位:千円)	1,781.05	1,940.70		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から個人使用や1日教室の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	山田市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01026				

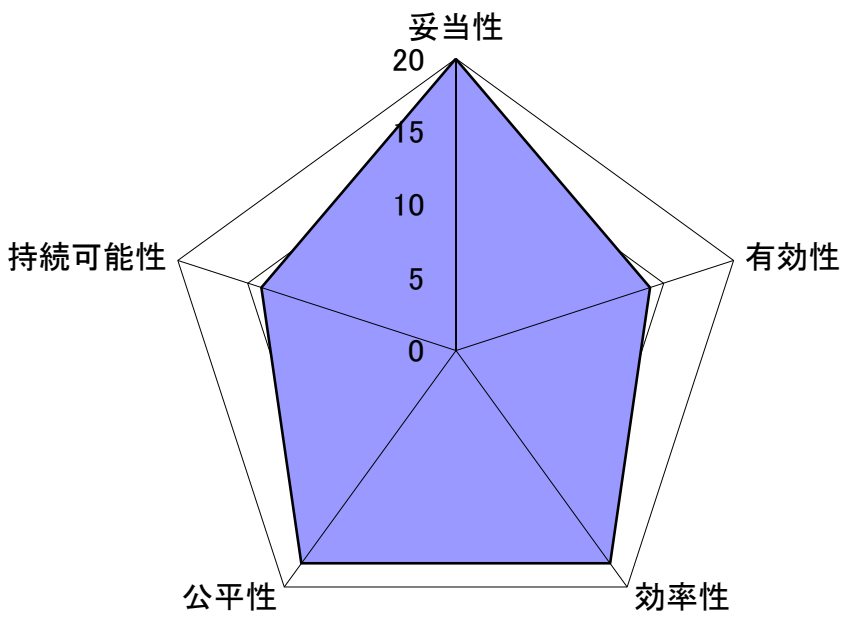
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01026
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度から指定管理者制度に移行し、施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成27年度に個人使用者登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請書への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民体育館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、南吹田市民体育館の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	6	大事業	1	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		68,258	67,235	69,053	67,799	68,479							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
	総事業費(A+B)		69,088	68,825	69,889	68,635	69,296							
	特定財源(C)		12,168	12,120	11,991	10,131	12,056							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	12,168	12,120	11,991	10,131	12,056							
	市負担(D)		56,920	56,704	57,898	58,504	57,240							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		56,920	56,704	57,898	58,504	57,240								
財源計(C+D)		69,088	68,824	69,889	68,635	69,296								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 南吹田市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	92,126.00	87,149.00	86,208.00
			実績値	(単位:人)	77,601.00	80,504.00	
		達成度(%)		84.2	92.4		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.88	0.85		
			一般財源(単位:千円)	0.73	0.73		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,989.77	2,006.87		
			一般財源(単位:千円)	1,647.13	1,710.64		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から個人使用や1日教室の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南吹田市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01027				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01027
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度から指定管理者制度に移行し、施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成27年度に個人使用者登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請者への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	目俵市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民体育館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、目俵市民体育館の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	6	大事業	1	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		133,488	133,386	134,951	134,205	136,110							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	830	1,590	836	836							
	総事業費(A+B)		134,318	134,976	135,787	135,041	136,927							
	特定財源(C)		20,431	22,411	21,890	18,742	21,964							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	20,431	22,411	21,890	18,742	21,964							
	市負担(D)		113,887	112,564	113,897	116,299	114,963							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		113,887	112,564	113,897	116,299	114,963								
財源計(C+D)		134,318	134,975	135,787	135,041	136,927								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
			②											
			③											
	主な委託内容		目俵市民体育館の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 目録市民体育館利用人数	目標値	(単位:人)	175,497.00	170,126.00	164,188.00
			実績値	(単位:人)	152,448.00	149,252.00	
		達成度(%)		86.9	87.7		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.88	0.90		
			一般財源(単位:千円)	0.74	0.78		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,924.04	3,948.57		
			一般財源(単位:千円)	3,300.06	3,400.56		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から個人使用や1日教室の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	目埭市民体育館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01028				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01028
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度から指定管理者制度に移行し、施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成27年度に個人使用者登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請書への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民プール管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和37年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民プール条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民プール利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
		多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、市民プール(4か所は夏期(7~8月)、うち1か所は温水(通年))の維持管理を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	7	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		202,152	202,043	204,141	207,148	295,364							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.40						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	3,268						
		総事業費(A+B)		203,812	203,633	205,812	208,819	298,632							
		特定財源(C)		55,389	48,195	53,787	53,075	45,709							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	55,389	48,195	53,787	53,075	45,709							
		市負担(D)		148,423	155,438	152,025	155,744	252,923							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	148,423		155,438	152,025	155,744	252,923									
財源計(C+D)		203,812	203,633	205,812	208,819	298,632									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	コナミスポーツ&ライフ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		主な委託内容		市民プールの管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 市民プール利用人数	目標値	(単位:人)	343,553.00	332,070.00	318,170.00
			実績値	(単位:人)	258,646.00	289,110.00	/
		達成度(%)		75.3	87.1		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.79	0.72		
			一般財源(単位:千円)	0.60	0.54		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	/
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,954.21	6,105.82		
			一般財源(単位:千円)	4,545.06	4,553.92		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		夏期プールは、低廉なレジャー施設として家族連れや子どもを中心に幅広い層に利用されています。しかし、レクリエーションの多様化やライフスタイルの変化により年々利用者が減少していることや、施設の老朽化が進んでいることなどにより、南千里市民プールと中の島市民プールを今年度で閉鎖し、通年利用できる片山市民プールと規模の大きい北千里市民プールの2施設に集約を図り、市民が安心、安全に利用できるように施設の充実を図ろうとするものです。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01029				

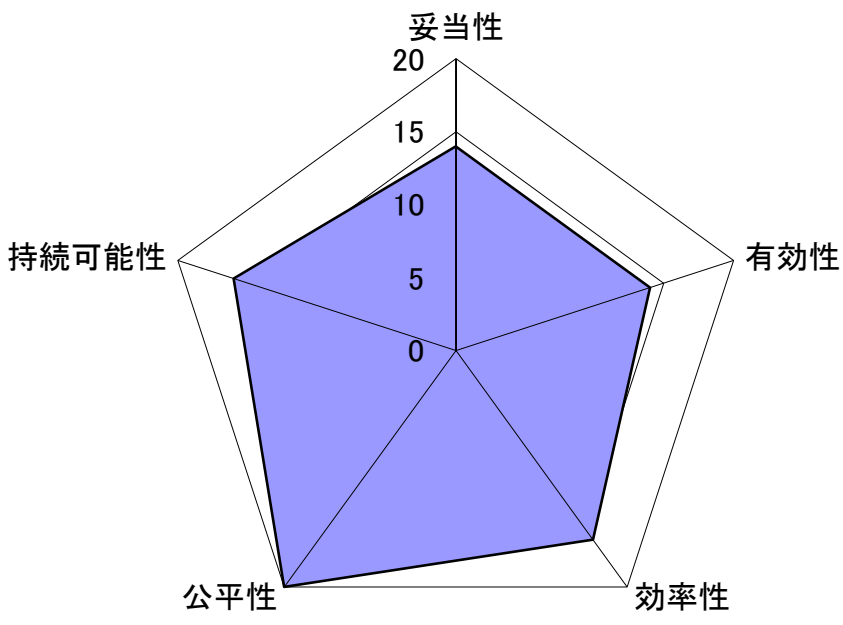
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01029
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民のレクリエーション、スポーツの場として活用されていますが、1年中利用できる温水プールが片山市民プールのみで、ニュータウン方面から温水プールの設置要望が出ています。 また、平成27年度で南千里と中の島市民プールが廃止となり、今後は片山、北千里市民プールにおいて施設整備の充実に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	武道館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立武道館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	武道館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、武道館利用者が安全、快適に使用できるよう維持・管理を行う。 市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民に武道やスポーツの場を提供するため、武道館の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	8	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		97,767	97,619	93,775	93,551	96,194							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.20	0.20	0.40						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	1,671	1,671	3,268						
	総事業費(A+B)		100,257	100,004	95,446	95,222	99,462							
	特定財源(C)		13,548	13,435	13,218	12,648	12,556							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	13,548	13,435	13,218	12,648	12,556							
	市負担(D)		86,709	86,568	82,228	82,574	86,906							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		86,709	86,568	82,228	82,574	86,906								
財源計(C+D)		100,257	100,003	95,446	95,222	99,462								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	特定非営利活動法人 吹田市体育協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		武道館の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 武道館利用人数	目標値	(単位:人)	95,169.00	105,350.00	/
			実績値	(単位:人)	98,719.00	98,892.00	
		達成度(%)		103.7	93.9		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.01	0.96		
			一般財源(単位:千円)	0.88	0.83		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,924.62	2,784.27		
			一般財源(単位:千円)	2,542.75	2,414.44		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>武道の専門的な施設として、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民に使用してもらえよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や武道大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。 また、今年度から個人使用の申込み時に毎回申請書を記入し受付を行っていましたが、個人使用者登録をすることにより、毎回行っていた、申請書の記入を省略でき、受付の簡素化を図りました。 今後も、安心・安全な武道の場を提供し、武道の普及や生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	武道館管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01030				

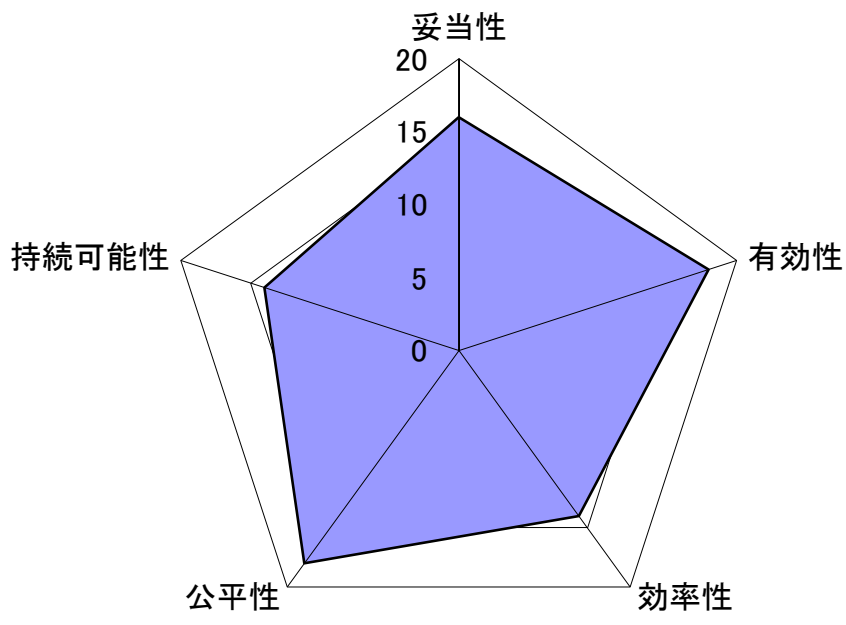
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01030
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	8	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	8														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成27年度に個人使用登録証を発行することにより、毎回申込み時に申請書への記入がなくなり、事務の簡素化、効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合運動場管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市総合運動場条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	総合運動場利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、総合運動場の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	9	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		90,595	91,872	92,630	91,835	95,984							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.40						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	3,268						
	総事業費(A+B)		93,085	94,257	95,136	94,341	99,252							
	特定財源(C)		7,688	8,427	7,873	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	7,688	8,427	7,873	0	0							
	市負担(D)		85,397	85,829	87,263	94,341	99,252							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		85,397	85,829	87,263	94,341	99,252								
財源計(C+D)		93,085	94,256	95,136	94,341	99,252								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	特定非営利活動法人 吹田市体育協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		総合運動場の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 総合運動場利用人数	目標値	(単位:人)	126,963.00	124,147.00	/
			実績値	(単位:人)	113,415.00	109,628.00	
		達成度(%)		89.3	88.3		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.83	0.86		
			一般財源(単位:千円)	0.76	0.86		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,756.64	2,758.51		
			一般財源(単位:千円)	2,519.36	2,758.51		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		第4種公認陸上競技場として陸上競技の普及に努めるとともに、総合運動場として、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ等、各種スポーツ教室や大会を開催し、小学生から高齢者まで幅広い層に利用されています。今今後も安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	総合運動場管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01031				

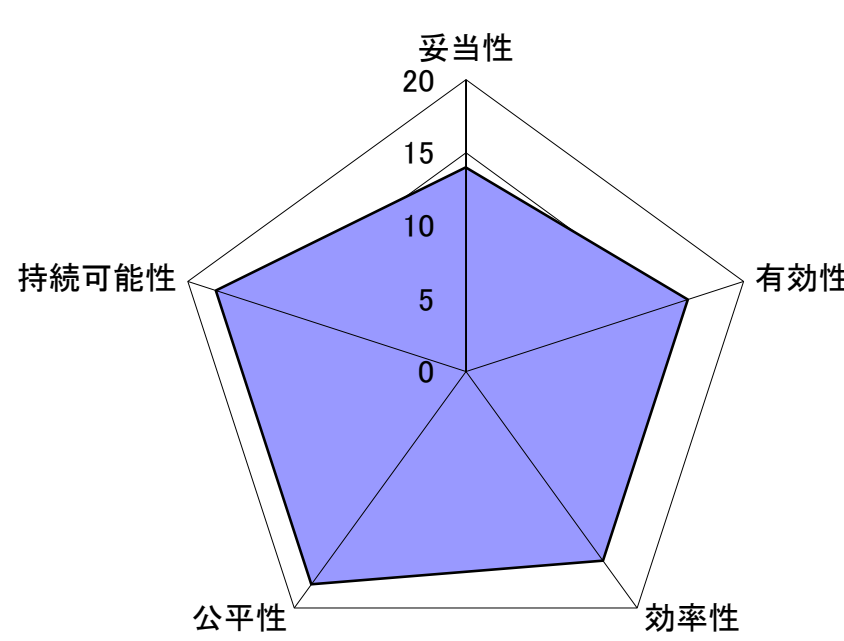
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01031
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>第4種公認陸上競技場として陸上競技大会の実施や総合運動場としてサッカーやラグビー、グラウンドゴルフ等、広く市民の方に利用されていますが、施設の老朽化が著しく維持補修に苦慮しています。今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、施設の抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民プール改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和37年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民プール条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民プール利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民プール利用者が安全・快適に使用できるよう、市民プールの改修を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。													
(7)	事業概要	平成26年7月4日に北千里市民プール子ども用変形プールの防水シートが剥がれ、平成26年度は使用中止にしておりましたが、平成27年度のオープン前に改修工事を行うものです。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	7	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		51,474	50,998	25,056	22,994	0							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	0						
		総事業費(A+B)		52,304	51,793	25,892	23,830	0							
		特定財源(C)		0	19,831	0	0	0							
		(内訳)	国	0	19,831	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		52,304	31,962	25,892	23,830	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	52,304		31,962	25,892	23,830	0									
財源計(C+D)		52,304	51,793	25,892	23,830	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	市民プール利用人数	目標値	(単位:人)	343,553.00	332,070.00	318,170.00	
			実績値	(単位:人)	258,646.00	289,110.00		
			達成度(%)		75.3	87.1		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.20	0.08	
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.08	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	0.00		
			達成度(%)		68.4	0.0		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,514.42	0.00	
				一般財源(単位:千円)		934.56	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成27年度年は北千里市民プール子ども用変形プールの防水シート改修工事を実施したが、今後大規模な改修や整備も必要のため、長期修繕計画に基づき計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01032				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	66	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01032
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成27年度は北千里市民プール子ども用変形プールの防水シート改修工事を行ったが、今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき集約した2プールの施設整備の充実を図ります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民ギャラリー事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	市庁舎ギャラリー運営要領、地域市民ギャラリー運営要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の美術的創作活動の振興と市庁舎の美観の向上を図る。												
(7) 事業概要	市庁舎ギャラリーと地域市民ギャラリー(平成13年度から順次開設、平成24年度当初5ヶ所)で市民が創作した美術作品を展示し、訪れた市民に鑑賞してもらう。なお、千里市民センターが平成24年9月に移転、市民会館が同月末で閉鎖されたため、現在は勤労者会館、千里丘市民センター、岸部市民センターの3ヶ所となっている。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		118	106	118	78	78							
	人件費	職員数	人	0.30	0.25	0.30	0.30	0.10						
		総額(B)	千円	2,490	1,987	2,506	2,506	817						
	総事業費(A+B)		2,608	2,093	2,624	2,584	895							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,608	2,093	2,624	2,584	895							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,608	2,093	2,624	2,584	895								
財源計(C+D)		2,608	2,093	2,624	2,584	895								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ギャラリー設置箇所数	目標値	(単位:箇所)	11.00	11.00	/
			実績値	(単位:箇所)	11.00	11.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 ギャラリー設置箇所数:市庁舎8+地域3	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	226.45	234.91		
			一般財源(単位:千円)	226.45	234.91		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 利用件数	目標値	(単位:件)	143.00	139.00	/
			実績値	(単位:件)	58.00	65.00	
			達成度(%)		40.6	46.8	
	目標値の積算方法 利用件数(ロビー24+地下11+夢24)+地域(36+24+24)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	42.95	39.75		
			一般財源(単位:千円)	42.95	39.75		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		展示利用者の多いギャラリーがある一方、展示利用者の少ないギャラリーもありますが、展示するスペースを公共施設内に無料で提供していることが大切であり、文化の振興・発展につながることから現行どおり継続とします。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民ギャラリー事業	事業区分	その他
事務事業番号	01055				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01055
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>市庁舎のギャラリーは人気も高く、展示者を抽選で決めるほどです。一方その他の施設のギャラリーの展示利用者は少なく、かなり余裕があることから、今後利用者の少ない施設について、利用のあり方について検討する必要があると考えています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南山田市民ギャラリー事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	利用料金の改定											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立市民ギャラリー条例、吹田市立市民ギャラリー条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	南山田市民ギャラリー											
	結果(どのような効果が得られるのか)	美術作品の展示、鑑賞によって、市民文化の振興と創造を図る。												
(7) 事業概要	暮らしの身近な場で、市民が創作した美術作品を展示し、鑑賞する機会を提供することにより、市民の美術に関する創作活動を促進し、市民文化の向上を図る。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	3	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,942	2,986	3,059	3,035	3,219							
	人件費	職員数	人	0.30	0.25	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	2,490	1,987	2,506	2,506							
	総事業費(A+B)		5,432	4,973	5,565	5,541	4,853							
	特定財源(C)		196	76	160	160	124							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	196	76	160	160	124							
	市負担(D)		5,236	4,897	5,405	5,381	4,729							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		5,236	4,897	5,405	5,381	4,729								
財源計(C+D)		5,432	4,973	5,565	5,541	4,853								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	南山田地域文化推進協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		施設管理業務等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ギャラリー使用日数	目標値	(単位:日)	323.00	324.00	323.00
			実績値	(単位:日)	197.00	233.00	/	
		達成度(%)		61.0	71.9			
	目標値の積算方法	開館日数359日×0.9=323日	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27.25	23.78		
				一般財源(単位:千円)	26.86	23.09		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	観覧者数	目標値	(単位:人)	6,180.00	6,180.00
	実績値			(単位:人)	3,652.00	4,511.00	/	
	達成度(%)		59.1	73.0				
	目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.47	1.23		
				一般財源(単位:千円)	1.45	1.19		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
③		活動内容	目標					
	成果内容		達成状況					
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		文化活動の広がりや活性化は重要なことであり、文化活動の場の提供と充実に努めることは重要であるが、地域性を考慮すると、今後の広がりやが困難であるため、あり方について検討していく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南山田市民ギャラリー事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01056				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01056
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の利用率を上げるため、広報活動だけでなく、市民文化の向上がはかれるものであれば、展示だけでなく、講座・講演会・教室、座談会、会議などの利用も可能とし、利用率の向上に努めていますが、駐車スペースがない、駅から遠いといった理由から一般市民の利用が伸び悩んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民協働学習センター事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	まちづくり市民塾事業を統合											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	3	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、NPO等市民活動団体、大学研究機関											
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民協働のまちづくりの実現												
(7) 事業概要	各地域、各分野でまちづくりについて活動している団体が、自由に意見及び情報交換を行い交流を図る場を提供すると共に、市勢全般や地域貢献活動について学ぶ講座などを開催する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		660	527	725	572	635							
	人件費	職員数	人	0.70	0.55	0.70	0.70	0.50						
		総額(B)	千円	5,810	4,371	5,847	5,847	4,085						
	総事業費(A+B)		6,470	4,898	6,572	6,419	4,720							
	特定財源(C)		65	71	60	72	60							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	65	71	60	72	60							
	市負担(D)		6,405	4,827	6,512	6,347	4,660							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		6,405	4,827	6,512	6,347	4,660								
財源計(C+D)		6,470	4,898	6,572	6,419	4,720								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	市民協働学習センター運営委員会										
			②											
			③											
	主な委託内容		まちづくりに関する講座企画等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 講座事業開催回数	目標値	(単位:回)	19.00	19.00	19.00	
			実績値	(単位:回)	19.00	19.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	前年度実績数値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		257.84	337.84	
				一般財源(単位:千円)		254.11	334.05	
	②	指標内容 機関情報誌「つながる」発行回数 【平成28年度廃止】	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法		4か月に1度の割合で発行	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,633.00	2,139.67	
	一般財源(単位:千円)				1,609.33	2,115.67		
(2) 成果指標	①	指標内容 講座事業受講者数	目標値	(単位:人)	60.00	60.00	60.00	
			実績値	(単位:人)	40.00	46.00		
			達成度(%)		66.7	76.7		
	目標値の積算方法	定員(入門講座30名、応用講座30名)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		122.48	139.54	
				一般財源(単位:千円)		120.70	137.98	
	②	指標内容 機関情報誌「つながる」発行部数 【平成28年度廃止】	目標値	(単位:部)	3,000.00	3,000.00	0.00	
			実績値	(単位:部)	3,000.00	3,000.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法		1000/回(発行予定)×3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.63	2.14	
	一般財源(単位:千円)				1.61	2.12		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市民協働学習センター運営委員会は市民団体の代表者等によって構成され、まちづくりや地域貢献活動を考える組織です。運営委員は、事業の実施だけでなく大学授業に講師として参加し、市民の視点から行政に参加する講義を行うなど、活動を行ってきました。</p> <p>毎年講座事業を実施するなど認知度も上がり、これまでに多くの講座修了者を輩出するなど、着実に実績を上げてきたところですが、近年は参加者数の伸び悩みがみられ、事業実施者の高齢化も顕著となってきています。</p> <p>事業の整理により、交流会事業と機関情報誌の発行を廃止し、平成28年度については、講座事業を中心に市民公益活動センターと連携し、事業を継続していくこととします。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民協働学習センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01057				

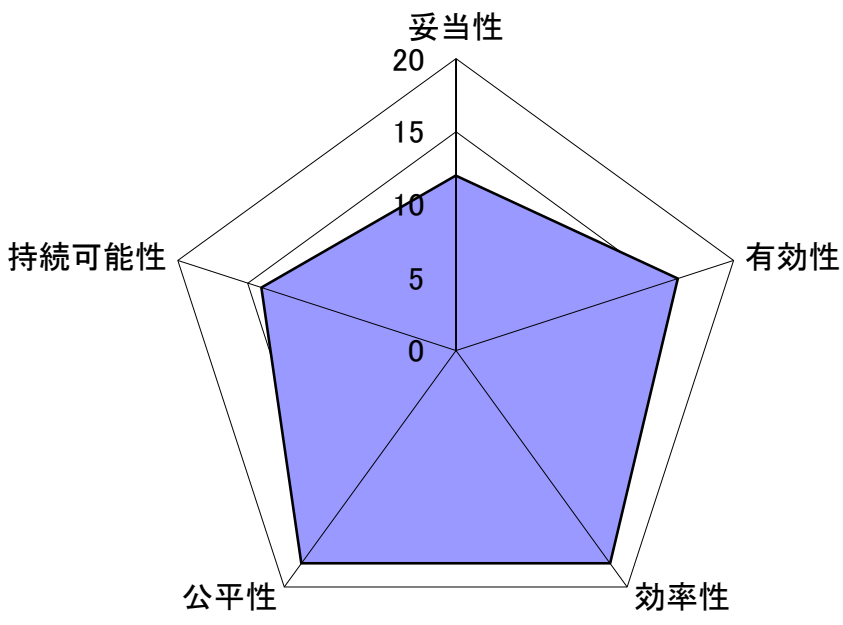
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01057
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まちづくりについて活動している団体の交流や、これから参加しようとする市民と一緒に広い角度からまちづくりについて考える機会を提供する場として、市民公募による講座や情報交換のための交流会を開催してきました。</p> <p>旧北千里小学校閉鎖後は、主に市民公益活動センターの会議室を借用し事業を実施していますが、講座事業においてはこれまで同等規模の参加者を募ることができ、活気ある事業実施が実現できています。ただ、交流会事業については新規での参加者がほとんどなく、固定化が進み、参加者の人数増に伸び悩みがみられています。</p> <p>また、事業を委託する市民協働学習センター運営委員会においては、高齢化のために辞めていくものもみられ、事業実施者として先細りが見えてきています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市展運営委託事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和25年度	改正 内容	所管課の変更											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市文化振興基本条例 吹田市文化振興基本計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の精神的なゆとりと、豊かな情操を養い、本市の芸術・文化活動の向上と発展を図る。													
(7)	事業概要	市民に創作活動の向上を図ると共に美術観賞の機会を提供することを目的とし、10月第1土曜日に満16歳以上の成人を対象に第1部：日本画、第2部：洋画、第3部：彫塑、第4部：工芸、第5部：書、第6部：写真、第7部：グラフィックデザインの各部門で公募を行い翌日の審査を経て、翌週より入選作品の展示をしている。最終日には、表彰式、作品講評会がある。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	8	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,349	2,302	2,349	2,349	2,349							
		人件費	職員数	人	0.90	0.85	0.90	0.90	0.85						
			総額(B)	千円	7,470	6,755	7,517	7,517	6,945						
		総事業費(A+B)		9,819	9,057	9,866	9,866	9,294							
		特定財源(C)		365	346	346	330	330							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	365	346	346	330	330							
		市負担(D)		9,454	8,711	9,520	9,536	8,964							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	9,454		8,711	9,520	9,536	8,964									
財源計(C+D)		9,819	9,057	9,866	9,866	9,294									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市美術協会										
				②											
				③											
		主な委託内容		公募吹田市美術展覧会の審査、講評等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 出品数	目標値	(単位:点)	435.00	421.00	/
			実績値	(単位:点)	388.00	370.00	
		達成度(%)		89.2	87.9		
	目標値の積算方法 公募点数+審査員出展数+招待出展数の過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24.37	26.66		
			一般財源(単位:千円)	23.48	25.77		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 入場者数	目標値	(単位:人)	3,122.00	2,982.00
	実績値			(単位:人)	2,599.00	2,391.00	
	達成度(%)		83.2	80.2			
	目標値の積算方法 過去5年1日平均入場者数×9日間	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.64	4.13		
			一般財源(単位:千円)	3.50	3.99		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		事業において、芸術的なレベルアップも効果を図る上で重要な要素ではありますが、指標として数値に表すことは非常に難しいです。市として実施すべき事業であると考えていますが、市民文化祭と同時に周知するなど、実施方法を工夫して継続していきます。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市展運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01060				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01060
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市美術協会に委託をし開催しています。市民の多様な文化活動に対応し、美術の発展と豊かな情操を養う機会として開催し、多くの出展をいただいています。 ただし、会期、準備方法等の事業内容について、更なる効率化を目指して検討を続けていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民文化祭事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和38年度	改正 内容	芸術芸能フェスティバル事業を統合											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供する												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の精神的なゆとりと、豊かな情操を養い、本市の芸術・文化活動の向上発展を図る												
(7)	事業概要	春季・秋季に分けて、吹田市文化団体協議会に加盟する団体毎の文化祭を開催することにより、市民に芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	9	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,094	3,037	3,094	3,072	3,094							
		人件費	職員数	人	0.80	0.75	0.80	0.80	0.80						
			総額(B)	千円	6,640	5,961	6,682	6,682	6,536						
		総事業費(A+B)		9,734	8,998	9,776	9,754	9,630							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		9,734	8,997	9,776	9,754	9,630							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			9,734	8,997	9,776	9,754	9,630								
財源計(C+D)		9,734	8,997	9,776	9,754	9,630									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市文化団体協議会										
				②	公益財団吹田市文化振興事業団										
				③											
		主な委託内容		開催、運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 文化祭参加団体数	目標値	(単位:団体)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:団体)	30.00	30.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	文化団体協議会加盟団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	313.17	325.13	
				一般財源(単位:千円)	313.17	325.13	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 総観客数	目標値	(単位:人)	23,000.00	23,800.00	/
			実績値	(単位:人)	26,575.00	26,052.00	
			達成度(%)		115.5	109.5	
	目標値の積算方法	過去3年間観客総数の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.35	0.37	
				一般財源(単位:千円)	0.35	0.37	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容	市民との協働		目標	事業に協働で参加	
	②	成果内容	文化団体協議会加盟団体と市民が協働して事業開催		達成状況	市民参加と加盟団体との協働が広がっている	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民文化祭の開催行事に友好交流都市が招待出演したり、文化祭参加団体や市民が友好交流都市へ出向いて舞台や展示披露をするなど市民参加の広がりがみられます。また、芸術芸能フェスティバルでは文化団体と市民が舞台発表や展示を協働で実施し、あらたに体験コーナーの実施や文化交流会の開催などの広がりがみられます。さらに、地域の伝統文化教室開催団体とフェスティバルを開催するなど地域文化活動との協働の広がりができ今後も発展が見込まれます。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民文化祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	01061				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01061
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化団体協議会・加名団体は、市民文化祭に友好交流都市から招待出演をいただいたり、友好交流都市へ出向いて舞台や展示を披露するなど文化交流を進めています。また、文化団体協議会が中心となり地域で伝統文化に取り組む団体と伝統文化継承事業実行委員会を構成し、伝統文化教室フェスティバルを開催するなど地域のなかで子どもをはじめ市民に文化を広げる取組を進めています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化団体協議会加盟の30団体によって文化祭が開催され、多数の来場者があります。芸術芸能フェスティバルには文化団体、市民が一つの舞台・展示を作りあげ市民との文化交流会や体験活動の機会を設けるなど協働をひろげています。開催事業の見直しを行う中で委託料の見直しや工夫を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

25年度から芸術芸能フェスティバル事業を統合し、文化団体に加入していない市民が文化団体と一つの舞台・展示を作りあげ市民との協働をひろげている。今後も一層参加しやすくするとともに、相互の交流が図れるように工夫し市民文化祭の内容を充実させていく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	ロビーコンサート開催事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	文化振興基本計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の文化活動を支援し、都市生活者に感動と安らぎを提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の精神的なゆとりと豊かな情操を養い、また、本市の芸術・文化活動の向上と発展を図る。													
(7)	事業概要	昼休みの時間帯に市役所本庁舎の玄関ロビーでコンサートを開催する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	2	中事業	10	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		49	40	40	40	40							
		人件費	職員数	人	0.20	0.15	0.20	0.20	0.10						
			総額(B)	千円	1,660	1,193	1,671	1,671	817						
		総事業費(A+B)		1,709	1,233	1,711	1,711	857							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,709	1,232	1,711	1,711	857							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,709	1,232	1,711	1,711	857								
財源計(C+D)		1,709	1,232	1,711	1,711	857									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 コンサート開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	3.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	66.7		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		543.33	855.50	
				一般財源(単位:千円)		543.33	855.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 観客数	目標値	(単位:人)	180.00	180.00	80.00	
			実績値	(単位:人)	180.00	80.00		
			達成度(%)		100.0	44.4		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.06	21.39	
				一般財源(単位:千円)		9.06	21.39	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を提供するコンサートとして、また市民の心にゆとりをもたらす事業として市民に親しまれていることから、現行どおり継続します。 ただし、会場がロビーということで、昼窓を実施する職場について考慮しつつ、コンサート回数や観客の増加をはかるため、開催日を定期的、定例的にするなど検討すべき点はあると思います。 出演者や、ロビー使用可能日の都合上、開催の希望があっても、実現できないケースもあり、目標をやや下回る状況です。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ロビーコンサート開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	01062				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

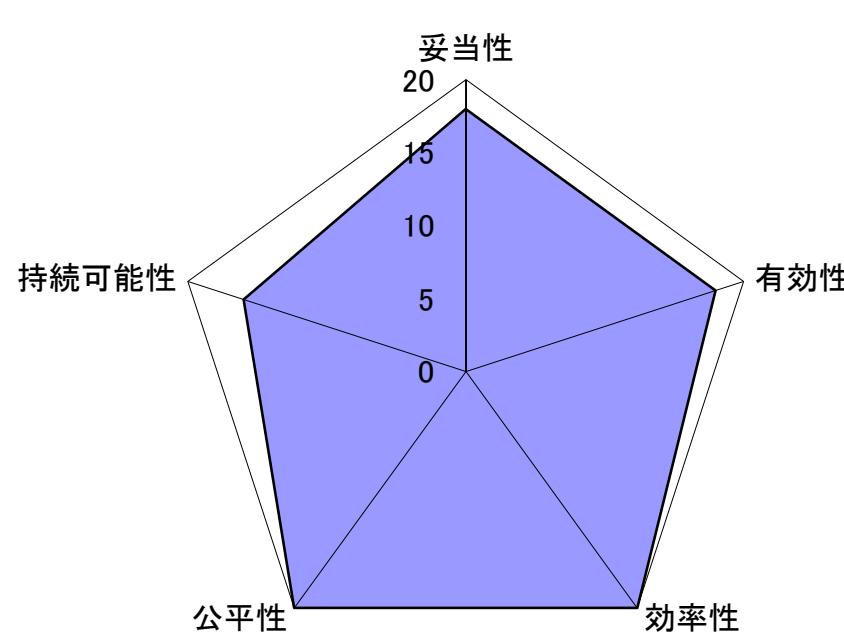
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01062
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

毎年新春恒例の行事として取り組むことで、行事が市民にも浸透し楽しみにされている。以前には年2回開催であったものを見直して、市役所ロビーを貸して発表する機会を求めている市民の方に提供している「にぎわいライブ」で対応してきている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新年の風物詩としてコンサートを楽しみにしている市民が多くなります。また、不定期で開催しているにぎわいライブについても好評を得ています。春に開催し、出演者とも調整し演奏だけではなく楽器の解説や演奏曲の解説などもいれたいいただき伝統文化や邦楽に関心を持っていただけるように取り組んでいます。しかし、出演者や、ロビー使用可能日の都合上、開催の希望があっても、実現できないケースもあり、目標をやや下回る状況です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市文化功労者表彰事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	表彰事業の市長部局への統合											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化功労者表彰要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	文化・スポーツ団体等文化の振興に功績のあった個人及び団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民文化の活性化												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市長表彰を行うことにより、市民文化の更なる振興を図る。												
(7)	事業概要	学術、芸術・芸能及び社会教育、体育振興等において、本市の文化振興に貢献し、その功績が顕著であると認められる個人・団体に対し、市長表彰を行いその功績をたたえる。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	23	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		370	299	360	327	360							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		4,520	4,273	4,536	4,503	4,445							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,520	4,273	4,536	4,503	4,445							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,520	4,273	4,536	4,503	4,445								
財源計(C+D)		4,520	4,273	4,536	4,503	4,445									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	関係部署から推薦を基に実績や功績を確認し、被表彰者を決定した。また、被表彰者名を市報やホームページで広く周知した。			目標	文化の日に表彰式典を開催し、被表彰者の功績を称え市長表彰を行う。
	②	成果内容	各分野で顕著な功績をあげられた36名の方々が表彰を受けられた。			達成状況	被表彰者だけではなく本市市民全体の文化振興の高揚と活性化を図ることができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市文化振興基本条例で、「市は、文化の振興に関し功績のあった個人及び団体の顕彰に努めるものとする」と規定されており、文化振興に係る権威の高い表彰として、本事業を実施しています。被表彰者の日頃の努力やその意思に敬服し、これまでの功績を称え、市民に広く周知することは、被表彰者にとって今後の継続の励みとなるだけでなく、被表彰者はもとより他の市民の文化意識の高揚を図るものとなっており、本市の文化振興の活性化に必要な事業です。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	吹田市文化功労者表彰事業	事業区分	その他
事務事業番号	01063				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01063
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

吹田市文化振興基本条例の中で、文化振興に関する基本的施策のひとつに、市は、文化の振興に関し功績のあった個人および団体の顕彰に努めると規定されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>教育委員会で行っていた「文化の日表彰」と旧文化のまちづくり室で行ってきた「文化功労者表彰」を一本化し、本市の文化振興における最高権威の表彰として被表彰者のこれまでの功績を称え表彰を行っています。市民の日頃からのたゆまぬ努力を表彰することにより、被表彰者はもとより他の市民にとっても文化振興の輪をを広げるものとなっています。また表彰式では、表彰状の授与を行うだけでなく、被表彰者や御来場の方々に楽しくまた文化芸術を感じていただける式典を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	歴史と文化のまちづくり施設管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正内容	貸室の追加											
(2) 直近の改正	平成24年													
(3) 根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくりセンター条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田歴史文化まちづくりセンター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行う。 まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与する。												
(7) 事業概要	吹田市歴史文化まちづくりセンターの施設の維持管理をし、歴史・文化のまちづくり活動についての施設の提供を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	25	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		21,969	21,853	22,732	22,404	24,160							
	人件費	職員数	人	0.40	0.45	0.40	0.40	0.30						
		総額(B)	千円	3,320	3,577	3,341	3,341	2,451						
	総事業費(A+B)		25,289	25,430	26,073	25,745	26,611							
	特定財源(C)		640	822	643	942	737							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	640	822	643	942	737							
	市負担(D)		24,649	24,607	25,430	24,803	25,874							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		24,649	24,607	25,430	24,803	25,874								
財源計(C+D)		25,289	25,429	26,073	25,745	26,611								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		施設管理業務等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	利用件数	目標値 (単位:件)	4,448.00	4,448.00	4,448.00
				実績値 (単位:件)	2,085.00	2,474.00	
				達成度(%)	46.9	55.6	
	目標値の積算方法	6室×353日(年末年始6日・臨時休館6日除く)×3コマ×70%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.86	10.41	
				一般財源(単位:千円)	11.47	10.03	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00
				実績値 (単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法		実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	観覧者数+利用者数	目標値 (単位:人)	20,446.00	20,649.00
				実績値 (単位:人)	20,649.00	20,893.00	
				達成度(%)	101.0	101.2	
	目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.20	1.23	
				一般財源(単位:千円)	1.16	1.19	
	②	指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	本事業は地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行うという大切な事業であり、まちに潤いをもたらすものです。利用者からの満足度も高いことから現行どおり継続します。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01064				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01064
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための場であるが、一般的な建造物とは異なる古民家の特殊性から計画的な改修等を図っていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正 内容	補助金要項改正											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくり事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため事業を実施する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与する。													
(7)	事業概要	吹田歴史文化まちづくりセンターにおいて、地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させるため、文化教養講座や季節行事、伝統芸能、あかりコンサート等の事業を実施する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	25	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,870	3,835	3,870	3,837	3,870							
		人件費	職員数	0.30	0.15	0.30	0.30	0.30							
			総額(B)	2,490	1,193	2,506	2,506	2,451							
		総事業費(A+B)		6,360	5,028	6,376	6,343	6,321							
		特定財源(C)		40	92	45	84	45							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	40	92	45	84	45							
		市負担(D)		6,320	4,935	6,331	6,259	6,276							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	6,320		4,935	6,331	6,259	6,276									
財源計(C+D)		6,360	5,027	6,376	6,343	6,321									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会										
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 事業実施回数	目標値	(単位:回)	76.00	76.00	/
			実績値	(単位:回)	61.00	70.00	
			達成度(%)		80.3	92.1	
	目標値の積算方法 過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	102.54	90.61		
			一般財源(単位:千円)	102.54	89.41		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 事業延参加者数	目標値	(単位:人)	4,097.00	4,097.00	/
			実績値	(単位:人)	3,278.00	3,987.00	
			達成度(%)		80.0	97.3	
	目標値の積算方法 実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.91	1.59		
			一般財源(単位:千円)	1.91	1.57		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため、季節行事、地域交流事業、まちづくり関連事業、郷土史調査研究などの委託事業やまちの賑わい創出事業、文化教養事業、伝統芸能、芸術芸能事業、ボランティア研修交流事業などの補助事業に活発に取り組んでいます。また平成27年度には異文化交流のイベントとして「ハロウィンフェスティバル」を開催し、新たな取組みを実施しました。</p> <p>十分に設立の趣旨に対応した事業が行われており、現行どおり継続します。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01065				

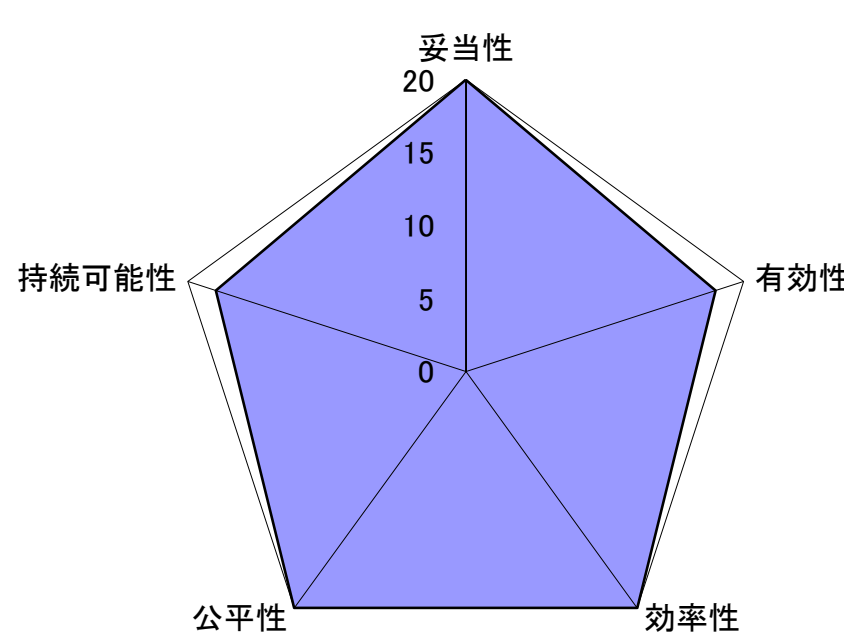
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01065
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>センター設立の趣旨に対応した多様な事業を開催することにより、広く周知することができました。今後は、さらに市民のニーズに合った事業を開催することにより、市民にとって「文化の拠点」になるよう引き続き、展開を進める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	国内都市交流事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	各市町とのフレンドシップ交流調印書													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	4	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、文化・スポーツ団体、大学研究機関											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都会に無い自然に恵まれた都市で、特色のある文化や歴史等に触れることによって、吹田市民にとって憩いの場、安らぎの場として、第2のふるさとを体感してもらう。												
(7) 事業概要	新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、大阪府能勢町、高知県土佐町、兵庫県香美町の6市町とフレンドシップ協定、及び災害時における相互応援協定を結んでいる。 都市化の進行に伴い、市内で失われつつある自然とのふれあいを求めるとともに、地域のもつ文化や歴史等の交歓を通じて体験学習や生涯学習の機会の提供を図り、市民相互の連携コミュニティ活動の振興を図る目的をもって自治体間に交流を求める。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	27	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,250	938	1,705	1,294	1,622							
	人件費	職員数	人	0.60	0.45	0.60	0.60	0.50						
		総額(B)	千円	4,980	3,577	5,012	5,012	4,085						
	総事業費(A+B)		6,230	4,515	6,717	6,306	5,707							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		6,230	4,514	6,717	6,306	5,707							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		6,230	4,514	6,717	6,306	5,707								
財源計(C+D)		6,230	4,514	6,717	6,306	5,707								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	交流実績のあった友好交流都市数	目標値	(単位:都市)	6.00	6.00	6.00
			実績値	(単位:都市)	6.00	6.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	友好交流提携実施自治体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		752.50	1,051.00	
				一般財源(単位:千円)		752.50	1,051.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	吹田市民が訪問した友好交流事業実施件数 (文化のまちづくり室事業所管分)	目標値	(単位:都市)	2.00	4.00
実績値				(単位:都市)	2.00	2.00		
達成度(%)			100.0	50.0				
目標値の積算方法		予算上実施可能件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,257.50	3,153.00	
				一般財源(単位:千円)		2,257.50	3,153.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	友好交流都市とのそれぞれの市民・町民が行き来した友好交流事業数 (文化のまちづくり室事業所管分)	目標値	(単位:件)	6.00	6.00
	実績値			(単位:件)	6.00	6.00		
	達成度(%)		100.0	100.0				
	②	指標内容	友好交流事業にて吹田市民が友好交流都市を訪問した人数 (文化のまちづくり室事業所管分)	目標値	(単位:人)	90.00	180.00	135.00
				実績値	(単位:人)	88.00	61.00	
		達成度(%)		97.8	33.9			
目標値の積算方法	参加者定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		51.31	103.38		
			一般財源(単位:千円)		51.31	103.38		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>交流を通して本市市民が異なる文化や歴史に触れ、友好都市の持つ魅力を発見するとともに、本市の魅力を再発見し一層の住民意識やアイデンティティを高め、地域に新たな活力を見出してもらえるよう取り組んでいきます。また、交流をしたそれぞれの市町民にとって、それぞれの地が憩いの場であり、第2の故郷として体感してもらえる取り組みを行います。</p> <p>今後も各市町の特徴を活かし、双方がアイデアを出し合いながら交流の促進を図ります。</p>						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国内都市交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01066				

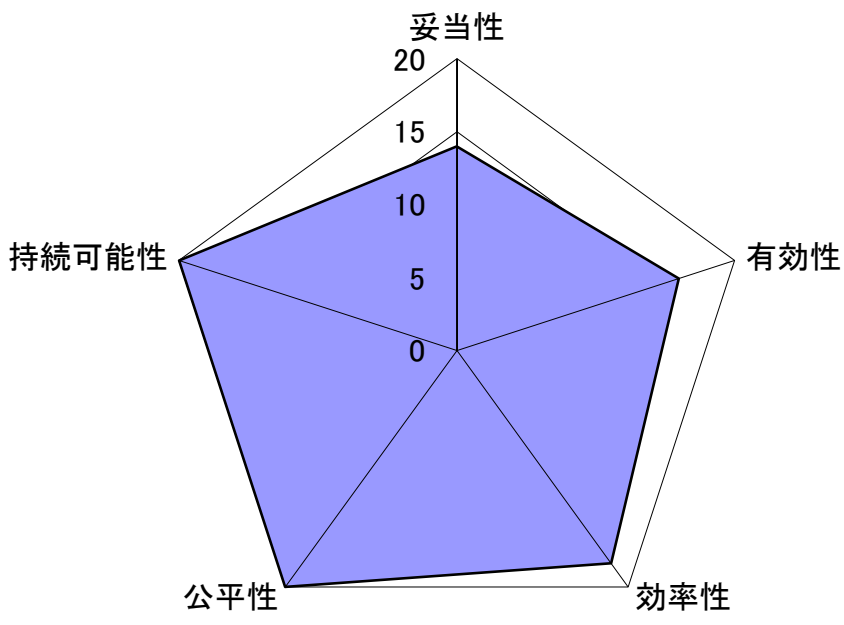
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01066
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>友好交流提携を結ぶ6市町との交流において、スポーツ、文化を中心とした、それぞれの市町民が行き来する交流を実施しています。 また、青少年を対象にスポーツやアウトドアを通じた交流を行い、それぞれの地を訪問した子どもたちが、それぞれの地を第2の故郷として感じてもらえるよう取り組んでいます。 これまで吹田市民が友好都市に訪問することが大半でしたが、各友好都市からも吹田市に来ていただき、本市の持つ魅力に触れていただけるよう取り組んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	国際交流事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和57年度	改正 内容	吹田市国際交流協会事業補助金交付要領の改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	都市提携盟約書、吹田市国際交流協会事業補助金交付要領、吹田市国際交流推進事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	5	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、文化・スポーツ団体等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市市民の国際感覚を養うとともに、本市の国際化及び多文化共生のまちづくりを進める。 国際理解と国際感覚が増進される。												
(7) 事業概要	海外友好都市や他外国からの訪問団を受入れ、ホームステイや学校での交流を通して、吹田市の国際化及び市民レベルの国際交流活動の推進を図る。 また、吹田市の国際化進展を目指して、多文化共生の社会づくりを進めていく。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	27	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		18,313	16,337	15,613	13,076	12,656							
	人件費	職員数	人	0.70	0.65	0.70	0.70							
		総額(B)	千円	5,810	5,166	5,847	5,847							
	総事業費(A+B)		24,123	21,503	21,460	18,923	20,826							
	(内訳)	特定財源(C)		0	5	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	5	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		24,123	21,498	21,460	18,923	20,826						
		地方債		0	0	0	0							
その他		0	0	0	0									
一般財源		24,123	21,498	21,460	18,923	20,826								
財源計(C+D)		24,123	21,503	21,460	18,923	20,826								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市国際交流協会										
			②											
			③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市国際交流協会										
②			国際交流活動を行う市民団体											
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 日本語教室開催回数 (吹田市委託事業分)	目標値	(単位:回)	162.00	168.00	160.00	
			実績値	(単位:回)	168.00	160.00		
			達成度(%)		103.7	95.2		
	目標値の積算方法	前年度実績回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		128.00	118.27	
				一般財源(単位:千円)		128.00	118.27	
	②	指標内容	国際交流推進事業補助金交付件数	目標値	(単位:件)	2.00	1.00	2.00
実績値				(単位:件)	1.00	2.00		
達成度(%)				50.0	200.0			
目標値の積算方法		前年度実績件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		21,504.00	9,461.50	
				一般財源(単位:千円)		21,504.00	9,461.50	
(2) 成果指標	①	指標内容 日本語教室延べ参加者数	目標値	(単位:人)	2,916.00	3,024.00	2,880.00	
			実績値	(単位:人)	1,834.00	1,449.00		
			達成度(%)		62.9	47.9		
	目標値の積算方法	講座開催回数×定員(18名)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.73	13.06	
				一般財源(単位:千円)		11.73	13.06	
	②	指標内容	国際交流推進事業補助金交付事業への参加者数	目標値	(単位:人)	43.20	41.40	44.80
				実績値	(単位:人)	38.00	41.00	
				達成度(%)		88.0	99.0	
目標値の積算方法		過去5年間の参加者平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		565.89	461.54	
一般財源(単位:千円)		565.89	461.54					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国際化における市民意識の高まりは、市民団体の活動からも年々増してきていることが窺えます。毎年多くの留学生や新たに居住する外国人が本市を訪問するなど、国際化が一層加速しています。今後も本市の国際化に資する事業の実施を通して、在住外国籍市民にとっても住みやすく、それぞれの文化を認め合うことのできる多文化共生のまちづくりを進めます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国際交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01067				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01067
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(公財)吹田市国際交流協会に委託し、バンクスタウン市からの訪問団受入れや日本語教室の実施など事業を実施しましたが、多文化共生にかかる事業のさらなる検討には至りませんでした。今後は多文化共生にかかる指針の策定に向けた取り組みや事業の新たな担い手の検討を進め、在住外国籍市民にとっても住みやすい、多文化共生のまちづくりを進めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容	平成25年度から事業名を(仮称)南千里公共公益施設管理事業から千里ニュータウンプラザ施設管理事業に変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	5	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市国際交流協会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市の国際交流の活動の拠点となる施設の維持・管理を行うことにより、市民の国際交流活動の場を確保するとともにその促進を図る。												
(7) 事業概要	千里ニュータウンプラザ内における吹田市国際交流協会に係る施設・経費の管理業務事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	27	大事業	1	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		19,073	19,043	19,203	18,952	19,509							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	1,590	836	836	817						
	総事業費(A+B)		19,903	20,633	20,039	19,788	20,326							
	特定財源(C)		1,698	1,629	1,656	1,522	1,776							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,698	1,629	1,656	1,522	1,776							
	市負担(D)		18,205	19,003	18,383	18,266	18,550							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		18,205	19,003	18,383	18,266	18,550								
財源計(C+D)		19,903	20,632	20,039	19,788	20,326								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田南千里PFI(株)										
			②											
			③											
	主な委託内容		施設の管理維持、修繕											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市国際交流協会面積	目標値	(単位:m ²)	253.70	253.70	253.70	
			実績値	(単位:m ²)	253.70	253.70		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	吹田市国際交流協会面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		78.20	78.00	
				一般財源(単位:千円)		71.78	72.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		適正に管理された日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 適正に管理された日数	目標値	(単位:日)	365.00	366.00	365.00
	実績値			(単位:日)	365.00	366.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	適正に管理された日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		54.35	54.07	
				一般財源(単位:千円)		49.89	49.91	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		在住外国籍市民の支援や、本市国際化及び多文化共生社会の確立を目的として、事業実施のための施設を提供する必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01068				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01068
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市における国際化及び多文化共生社会の確立を図る(公財)吹田市国際交流協会の活動拠点として、施設の提供を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツグラウンド改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加						
(2)	直近の改正	平成24年度								
(3)	根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		範囲等	スポーツグラウンド(野球・テニス利用者)							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう、スポーツグラウンドの改修を行う。							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。								
(7)	事業概要	スポーツグラウンドにおいて、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		0	0	2,707	2,528	32,232		
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
			総額(B)	千円	0	0	836	804	818	
		総事業費(A+B)		0	0	3,543	3,332	33,050		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0	0	
			府		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	2,707	2,528	32,232		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
一般財源			0	0	2,707	2,528	32,232			
財源計(C+D)		0	0	2,707	2,528	32,232				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
				②						
				③						
		主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スポーツグラウンド利用人数	目標値	(単位:人)	265,097.00	265,230.00	268,675.00
			実績値	(単位:人)	252,038.00	248,744.00	/	
		達成度(%)			95.1	93.8		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績人数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.01
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.01	
	②	指標内容	スポーツグラウンドの利用率 (利用時間合計/利用時間合計 * 100)	目標値	(単位:%)	67.70	68.10	66.90
実績値				(単位:%)	66.90	66.00	/	
達成度(%)				98.8	96.9			
目標値の積算方法		過去3年間の利用率平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		38.30
				一般財源(単位:千円)		0.00	38.30	
(2) 成果指標	①	指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	/	
			達成度(%)			68.4		68.4
		目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00
	一般財源(単位:千円)					0.00	73.92	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)			0.0	0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01354				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
		②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	56	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01354
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	18	効率性	8	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	18														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>各スポーツグラウンドとも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成27年度は南正雀テニスコート擁壁強化工事を実施、平成28年度は南正雀スポーツグラウンドの人工芝張替工事を予定していますが、今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田市民体育館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民体育館利用者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう山田市民体育館の改修を行う。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。							
(7)	事業概要	山田市民体育館において、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 山田市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	177,668.00	177,120.00	177,119.00	
			実績値	(単位:人)	162,127.00	163,189.00		
			達成度(%)		91.3	92.1		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づいて計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	山田市民体育館改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01355				

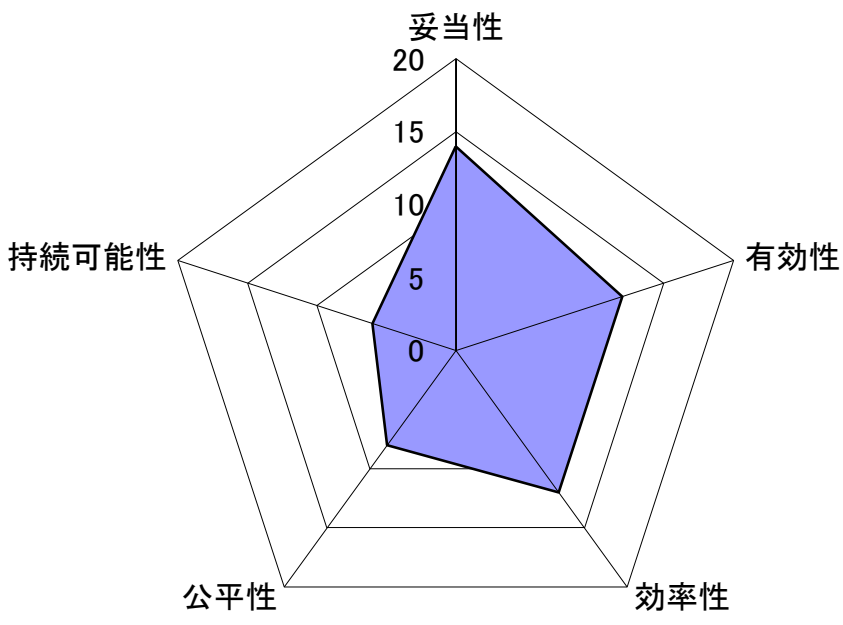
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	8	②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	52	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01355
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今年度は大規模な改修予定はありませんが、今後は長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合運動場改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加					
(2) 直近の改正	平成24年度							
(3) 根拠法令等	吹田市総合運動場条例・同条例施行規則							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	総合運動場利用者					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。						
(7) 事業概要	総合運動場において、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 総合運動場利用人数	目標値	(単位:人)	126,963.00	124,147.00	120,437.00
			実績値	(単位:人)	113,415.00	109,628.00	
		達成度(%)		89.3	88.3		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づいて計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	総合運動場改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01356				

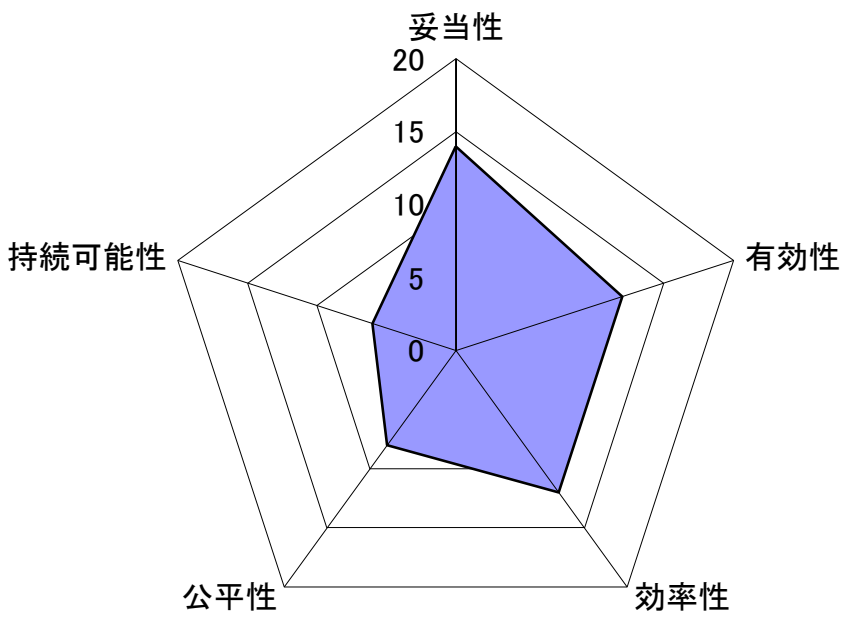
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	8	②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	52	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01356
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく修繕や改修に係る経費が増大していく中、今後は長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	武道館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加					
(2) 直近の改正	平成24年度							
(3) 根拠法令等	吹田市立武道館条例・同条例施行規則							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	武道館利用者					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう武道館の改修を行う。						
(7) 事業概要	武道館において、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	34,176	32,087	0	
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
		総額(B)	0	0	836	804	0	
	総事業費(A+B)		0	0	35,012	32,891	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国	0	0	0	0	0	
		府	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	市負担(D)		0	0	34,176	32,087	0	
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	34,176	32,087	0		
財源計(C+D)		0	0	34,176	32,087	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 武道館利用人数	目標値	(単位:人)	95,169.00	105,350.00	/
			実績値	(単位:人)	98,719.00	98,892.00	
		達成度(%)		103.7	93.9		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.32		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.32		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	938.22		
			一般財源(単位:千円)	0.00	938.22		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づいて計画的に行う必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	武道館改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01357				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
		②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	54	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01357
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成27年度は空調設備の改修工事を実施しましたが、今後も長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北千里市民体育館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民体育館利用者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう北千里市民体育館の改修を行う。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。							
(7)	事業概要	北千里市民体育館において、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	北千里市民体育館利用人数	指標内容	目標値	(単位:人)	136,154.00	126,451.00	125,982.00
			実績値	(単位:人)	112,053.00	120,775.00		
			達成度(%)		82.3	95.5		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	指標内容	目標値	(単位:)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	北千里市民体育館改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01358				

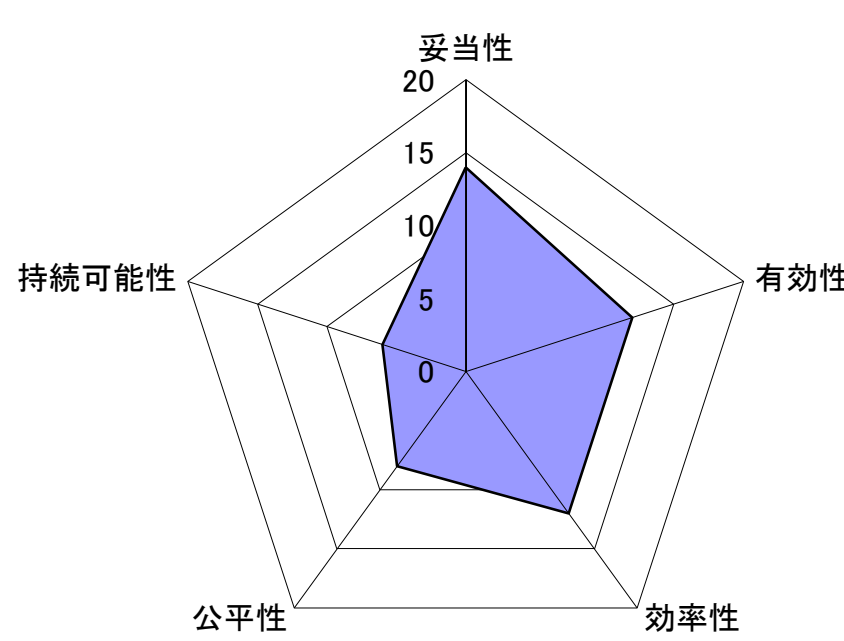
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	8	②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	52	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01358
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;">  </div>		
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後は長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	目俵市民体育館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民体育館利用者						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう目俵市民体育館の改修を行う。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。							
(7)	事業概要	目俵市民体育館において、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 目録市民体育館利用人数	目標値	(単位:人)	175,497.00	170,126.00	164,188.00
			実績値	(単位:人)	152,448.00	149,252.00	
		達成度(%)		86.9	87.7		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:人)	50.00	50.00
	実績値			(単位:人)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後、大規模な改修や整備も必要のため、長期修繕計画に基づいて計画的に行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	目俵市民体育館改修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01359				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	8	②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	52	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01359
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。今後は長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	運動あそびプログラム推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容						
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	40	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市立の幼稚園(16園)、保育所(18園)の園児および職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	こども部こども育成室保育幼稚園課と連携を図り、「運動あそびプログラム」の普及を推進し、しなやかに動ける身体づくりを目指すとともに、運動好きの子どもを増やして積極的な身体活動につなげる。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	幼児期から運動習慣を定着させることにより、子どもの低体力化を予防し、心身ともに健康な子どもの育成につなげる。							
(7)	事業概要	運動指導に関する専門的な知識・経験を持つ、スポーツ推進室職員が市立の幼稚園・保育所を巡回し、園児指導および職員研修を行い、各園が日常保育の中で「運動あそびプログラム」を取り入れた活動を行うことができるようにすることを目指し、運動好きの子どもを増やすことで心身ともに健康な子どもの育成を支援する事業です。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	事業対象の34園に対して、巡回回数は各園、年6回と定数化しているため。			目標	事業の実施方法として、巡回回数を定数化しているため目標値を設定することは困難である。	
	②	成果内容	在園児数は、年次毎に変動するため。			達成状況	各園では、巡回を通して学んだことを活かし、日常保育で「運動あそびプログラム」を取り入れた活動を実施する場面が増えている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>幼児期の活動量が、子どもの「からだ」と「こころ」の健やかな成長に大きな影響を及ぼすことが分かってきており、運動好きの子どもを増やすきっかけづくりのため、園の保育者が日常保育の中で「運動あそび」を取り入れた活動を継続できるようにすることを目的とした本事業は、活動量の減少といった社会的な課題を改善するためにも非常に重要な事業である。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動あそびプログラム推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01360				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

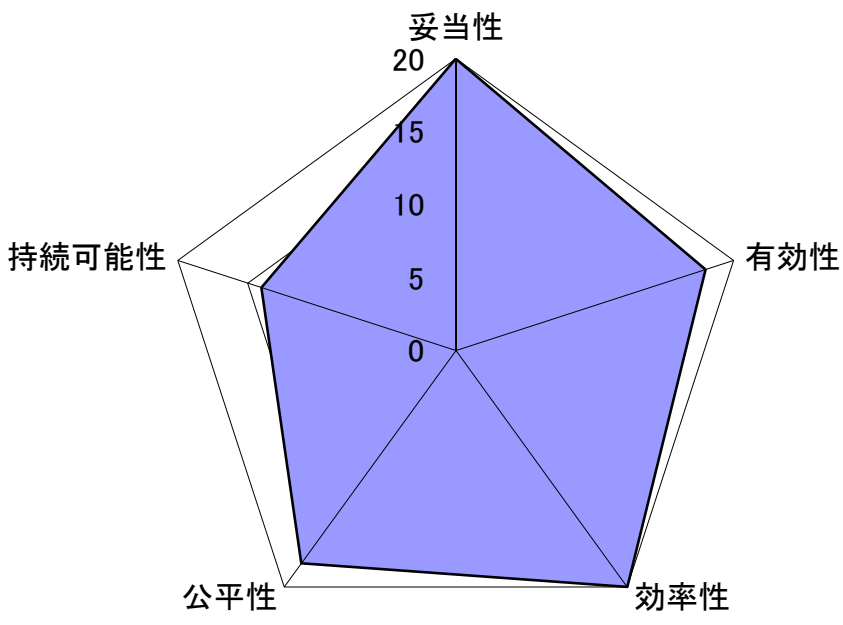
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01360
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、類似事業がないため比較・分析することができない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>運動指導に関する専門職員による巡回は、園職員のスキルアップにつながっており、園が主体となった日常の保育に運動あそびプログラムを取り入れた活動の実現に向けて効果が表れている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	サッカースタジアム管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	山本 雅子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	市立吹田サッカースタジアム条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	3	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	スタジアム入場者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	プロサッカーの試合その他のスポーツ活動等の催しの用に供することにより、スポーツの推進及び青少年の健全育成並びに市民相互及び地域間の交流が図れるよう、施設の維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	にぎわい及び活力のあるまちづくりが図られる。													
(7)	事業概要	プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的としたスポーツ活動等へ施設の貸出しを行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	6	目	10	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	0	500,853,466	151,414							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	1.50	0.90						
			総額(B)	千円	0	0	0	12,059	7,353						
		総事業費(A+B)		0	0	0	500,865,525	158,767							
		特定財源(C)		0	0	0	500,275,774	151,297							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	500,275,774	151,297						
		市負担(D)		0	0	0	577,692	7,470							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	0	577,692	7,470								
財源計(C+D)		0	0	0	500,853,466	158,767									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社ガンバ大阪										
				②											
				③											
		主な委託内容		スタジアムの管理運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スタジアムの利用者数	目標値	(単位:人)	0.00	250,000.00	349,922.00
			実績値	(単位:人)	0.00	132,546.00		
		達成度(%)		0.0	53.0			
	目標値の積算方法	平成27年度(5か月)の1か月平均利用者数 * 12か月 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	3,778.71		
				一般財源(単位:千円)	0.00	4.36		
	(2) 成果指標	②	指標内容	スタジアムの入場者数	目標値	(単位:人)	0.00	600,000.00
実績値				(単位:人)	0.00	132,546.00		
達成度(%)			0.0	22.1				
目標値の積算方法		「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	3,778.71		
				一般財源(単位:千円)	0.00	4.36		
(3) が困難な場合		①	活動内容	スタジアムの入場者数	目標値	(単位:人)	0.00	600,000.00
	実績値			(単位:人)	0.00	132,546.00		
	達成度(%)		0.0	22.1				
	②	指標内容	スタジアムの入場者数	目標値	(単位:人)	0.00	600,000.00	600,000.00
			実績値	(単位:人)	0.00	132,546.00		
		達成度(%)		0.0	22.1			
目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	3,778.71			
			一般財源(単位:千円)	0.00	4.36			
①	活動内容					目標		
		②	成果内容					達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明	<p>平成27年10月に供用を開始し、平成28年2月のこけら落としより、本格的に稼働しています。プロサッカーの試合をはじめ、指定管理者が行う自主事業(スタジアムツアー)や市民見学会を実施し、サッカーファンをはじめとする、様々な市民の来場を促すことで、にぎわい及び活力のあるまちづくりの推進を図るとともに、安心・安全に利用していただけるよう、施設の維持管理を行っています。</p> <p>さらに、国際試合の誘致や市民利用の拡大を図り、多くの方々が来場することにより、吹田市の魅力の発信元となるよう、継続して実施するものです。</p>						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	サッカースタジアム管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01484				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

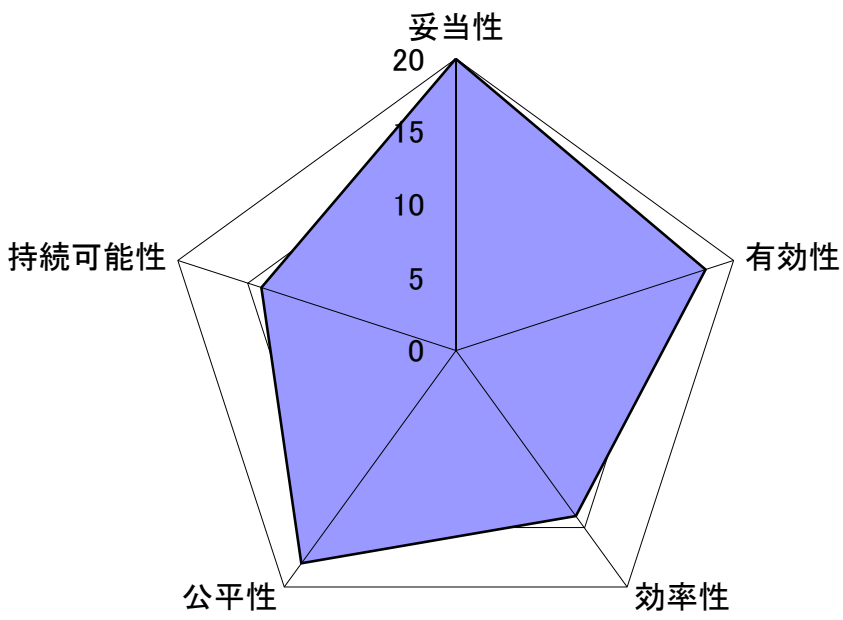
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01484
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、ホームチームが指定管理者となるという類似事業がないため比較・分析することができません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年2月からの本格稼働により、サッカーファンをはじめとする多くの市民が来場し、にぎわいの創出及び地域の活性化が図れつつあります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)